

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号
TEL.053-435-2111 (代)
<https://www.hama-med.ac.jp/>

1-20-1 Handayama, Higashi-ku, Hamamatsu,
Shizuoka 431-3192 Japan

Tel: +81-53-435-2111



学校教育法第109条第2項の規定に基づき、
平成26年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による
「大学機関別認証評価」を受審し、
「大学評価基準を満たしている」と認定されました。

国立大学法人 浜松医科大学

概要 2020

National University Corporation
Hamamatsu University
School of Medicine



CONTENTS

- 1 建学の理念、目的及び使命、学章・シンボルマーク
Foundation Vision, Mission, University Emblem, Logo & Mascot
- 2 令和2年度 年度計画重点事項
- 3 学長あいさつ
Message from the President
- 5 教育目標
Goals
- 6 医学部
School of Medicine
- 9 大学院医学系研究科
Graduate School of Medicine & Nursing
- 11 組織
Organization
- 12 役員等
Administrative Officers
- 17 職員数
Staff
- 18 附属図書館
University Library
- 19 学内共同教育研究施設
Joint-use Facilities for Education and Research
- 23 医学部附属病院
University Hospital
- 28 国際交流
International Exchanges
- 29 地域・社会貢献
- 31 外部資金受入れ状況
External Funding
- 32 財務、土地及び建物
Accounts, Land & Buildings
- 33 歴代学長・沿革
Former Presidents & History
- 38 案内図・交通アクセス
Location Map & Directions
- 39 キャンパスマップ
Campus Map

建学の理念 Foundation Vision

第1に優れた臨床医と独創力に富む研究者を養成し、第2に独創的研究並びに新しい医療技術の開発を推進し、第3に患者第一主義の診療を実践して地域医療の中核的役割を果たし、以て人類の健康と福祉に貢献する。

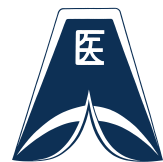
The University seeks to achieve three chief objectives; firstly, to produce excellent clinicians and highly creative researchers; secondly, to promote original research and the innovation of medical techniques; and thirdly, to play a leading role in local medical treatments by practicing medicine for the greatest benefits of patients. These goals should contribute to the health and welfare of all mankind.

目的及び使命 Mission of our University

浜松医科大学は、医学・看護学の教育及び研究の機関として、最新の理論並びに応用を教授研究し、高度の知識・技術及び豊かな人間性と医の倫理を身に付けた優れた臨床医・看護専門職並びに医学研究者・看護学研究者を養成することを目的とし、医学及び看護学の進展に寄与し、地域医学・医療の中核的役割を果たし、以て人類の健康増進並びに福祉に貢献することを使命とする。

The main task of Hamamatsu University School of Medicine is to actively promote the mankind's health, happiness and prosperity through its educational and academic activities. The school, which serves as an educational and research institution for medicine and nursing, aims at teaching and researches on the newest theories and practical applications of them. The school continuously seeks to grow up expert clinicians and nurses and their researchers who are not only highly academic and skilled but also well trained and versed in medical ethics. By doing so, the university plays a leading role in local medicine and health care and helps them develop.

学章・シンボルマーク University Emblem, Logo & Mascot



学章 University Emblem

静岡県、日本の象徴である富士山をモチーフにデザインされた学章は、開学以来、親しまれ、使用されています。

富士に医大、下部に大学の大、湾曲部は遠州灘と波、突起部は浜名湖をイメージしています。

Mt. Fuji, located in Shizuoka and the symbol of Japan is the motif of the university emblem. Kanji characters for 'Medicine' and 'University' are incorporated into the motif. The bight in its lower part portrays The Sea of Enshu and waves, and its protrusion images Hamana Lake.

The university emblem is used on diplomas, legal documents, and other materials only at the discretion of the president.



シンボルマーク University Logo

本学のローマ字での頭文字「h」をデザイン化。水色部分が遠州灘（下部分の曲線）、浜名湖の水面、浜松から望む富士山（右上の突起）で浜松の特色、全体の曲線が生命の源である自然な水のゆらぎ、医療の重要キーワード「生命」を表現しています。

また、オレンジ色の丸と水色部分の両方を合わせて全体を見ると、元気、健康、躍動を表現した人（丸を頭、水色の両端を手に見立てる）に見えます。人類の健康と福祉に貢献することをイメージしています。

The University's initial letter "h" is designed into a mountain-like aqua shape, inspired by Mt. Fuji. It also symbolizes Hamana Lake, The Sea of Enshu, natural water and the essence of life. Together with an orange circle, it implies a mankind with energy, health and dynamism.

The university logo encapsures the University's dedication to the future development of human health and welfare.

The logo was created primarily for use on merchandise and promotional items, and is an alternative to the university emblem for graphic design purposes.



はんだやまっぴー

マスコットキャラクター University Mascot

半田山の木々から生まれた山の精。

常に最新の医学を勉強し、患者さんを笑顔&元気にすることが何よりの生きがいとしています。

"Handa-yamappi" is a forest spirit, born in the wood of the Handa-yama University Campus. It loves catching up on modern medical care and cheering up patient, which is its raison d'être.

令和2年度 年度計画重点事項

教育 Education

教育改善の取組

- 光医学の素養を持った医療人の輩出
- 光医学関連授業のアクティブラーニング実施率の向上
- 静岡大学との共同専攻である大学院博士後期課程光医工学共同専攻から初の修了生輩出

教育施設の充実

- スマート・ライブラリ構想の実現へ
- Society5.0型図書館への改修
- グループ学習のための環境整備
- 反転授業のための動画教材作成支援

地域医療への貢献

- 総合診療医養成モデルの構築へ
- 令和2年1月から新たに開始した家庭医療学臨床実習の課題を検証
- 卒後教育における教育プログラムの充実

業務運営 Business Operations

組織運営の見直し

- 静岡大学との法人統合・大学再編を見据えた業務効率化の検討

マネジメント改革

- 教員のモチベーション向上のため
- 更なる人事給与マネジメント改革の推進
- 新しい教員評価制度の実施

施設整備の有効活用による教育研究環境の向上

- 民間資金を活用したPPP(Public Private Partnership)手法による整備
- 職員宿舍、留学生・研修医宿舍の整備
- 病院福利施設(仮称)の整備

- 施設整備補助金によるキャンパス整備
- 医療機能強化のための新築及び病棟改修
- 基礎臨床研究棟第Ⅲ期改修
- 学内橋梁の耐震化
- 屋外電力・通信ケーブルの更新

研究 Research

研究戦略室(仮称)の設置

学長直轄の組織として、「基礎研究」「臨床研究」「産学・知財」の全てを対象として、学内の研究シーズの掘り起こしと『目利き』を行い、本学の新たな強みを探索し、創成するための提案、支援を実施

新たな研究支援制度

- 更なる外部競争的資金の獲得に向けて
- 優秀な若手研究者への研究資金支援
- 科研費にあと一歩で採択という課題を重点支援

実用化

- 中期計画に掲げる「5件の実用化」を既に達成しており、更に上積みを狙う

学長

研究戦略室

副学長(研究担当)
副学長(産学連携・知財担当)
(7名) 臨床研究センター長

「がん」「感染症/免疫/動物」
「ゲノム・オミックス」
「光/ナノスーツ」「こころ」
「医学全般」の専門家 4名

【研究室ラウンド】【外部資金等データ収集】
【重点/若手/院生プロジェクト審査】

7名の目利き集団による研究戦略会議



診療 Medicine

医療安全の取組

- 未読レポート対策の更なる強化

良質な医療人の育成

- 医師臨床研修制度の見直しに対応した臨床研修プログラムの実施とより良い研修体制の構築

高度な医療の提供

- 「地域がん診療連携拠点病院(高度型)」、「がんゲノム医療拠点病院」を目指す取組
- 医療機能強化棟の整備に向けたメディカルスタッフの確保

健全な病院経営の確立

- 附属病院における新たな施設基準取得
- 増収・経費縮減対策等の検討

社会・地域医療への貢献

- 看護師特定行為研修センターの受講区分の拡充を図ることによる地域看護教育への貢献



学長挨拶

Message from the President

国立大学法人浜松医科大学長 今野 弘之

KONNO Hiroyuki, M.D., Ph.D., President

浜松医科大学は開学46年になります。卒業生は昨年度までに医学科 4,169名、看護学科 1,495名に達し、地域医療のみならず、全国の医療の現場や研究分野、行政関係などで活躍しています。建学の理念に謳われているように、「良質な医療人を育成し、独創性のある研究成果を世界に発信し、地域医療を中核的に担う」ことが、私たちの使命です。この理念は開学してから半世紀近くを経て、医療や看護の高度化、専門化が顕著な現代でも、聊かも揺るがない高邁な精神を謳った理念であり、大学運営の羅針盤と言えます。

国立大学の法人化から16年経ちました。大学の運営全般に渡って学長のリーダーシップが強化されると共に、責任も飛躍的に増大しましたが、この間私を含め、3代の学長が中心となって教職員と共に多くの改革を進めてきました。医師・看護師・保健師国家試験において高い合格率を維持しながら、地域の医療に貢献する優れた医師・看護師を養成し、独創性のある研究を展開すると共に、産学官連携など本学独自の「強み」を発展させてきました。

第3期中期目標期間に入ってから、国立大学法人の使命である、教育、研究、診療を中心として、社会貢献や時代を見据えた改革を推進し、各分野の深化を図ると共に、良好な病院収益などにより、計画的な大学施設の新築や改築、インフラの整備などを切れ目なく行っています。

教育においては、個別入試の比重を高め、面接にプレゼンテーションを実施し、「記憶力」から「論理的思考力、判断力、表現力」へという国の方向性を先取りしてきました。また、ディプロマポリシー（学位授与基準）を改訂し、医学・看護学の基本的な知識と技術を身に付けた上で、自ら課題を抽出し、解決する能力を修得することを明確にすると共に、患者中心のチーム医療を実践するために必要な、豊かな人間性と高い倫理観及びコミュニケーション能力を明記しました。さらに、リサーチマインドの涵養をあげ、3年時の基礎配属などで研究に従事させるなど、科学的な見方、考え方を継続的に教授しています。医学科、看護学科共に大学教育の質保証を目的として、新たなディプロマポリシーに沿った新カリキュラムを構築し、参加型臨床実習の時間を増やしました。また、国際感覚を身に付けた医療人の育成に必須と言える実践的英語能力涵養のため、留学生との交流の機会を設け、さらに全学生に国際コミュニケーション英語能力テスト（TOEIC）を受験する機会を提供しています。このような取り組みにより海外で研修する学生は年々増加していますが、昨年度より国際化推進センターを設置し、専任教員を配置するなど、本学及び海外からの学生の利便性を向上させ、一層の国際教育、国際的学術交流の推進を図っています。

大学院教育においても、医学系研究科では海外の学生を含め常に定員以上の応募があり、優れた大学院生の確保が可能となっています。さらに、令和3年度には修士課程看護学専攻において老年看護の専門看護師育成コースを開設予定です。令和4年度には博士課程開設を目指しており、看護学科においても、専門性の追求や高度な人材育成を目指した教育を推進しています。

研究面では、本学の「強み」として光医学研究と産学官連携が挙げられます。研究開発と人材育成の機能を強化するため、光先端医学教育研究センターを設置し、「細胞からヒト」までのシームレスなイメージング・コンプレックス体制で、基礎医学から診療までの研究を展開しています。また、大学院に博士後期課程（光医工学共同専攻）を設置し、光医学を基礎とした医工連携分野に精通した光医工学の高度専門人材の育成がスタートしています。さらに、地域における産学官連携を深化させるために、産学連携・知財活用推進センターを設置し、大学間、行政、金融、基幹病院との連携を強化していきます。常勤教員当たり研究業績数や科研費獲得額・件数は国立大学でも常に上位に位置しています。

附属病院は安全で高度な医療を行うことを第一のミッションとしています。経営状況は極めて良好で、病院の使命を十全に果たしながら、手術件数など多くの指標が国立大学の中でもトップランクに位置しています。手術件数の増加等に対応し、令和3年度には最新の手術室や放射線治療室、内視鏡室、新生児治療室などを備えた機能強化棟が竣工します。また、卒後教育の充実にも積極的に取り組んでおり、卒後教育センターでは、初期研修から専攻医研修まで一貫した支援を行っています。さらに看護師特定行為研修センターを開設し、チーム医療の促進のために医療安全のもと特定行為を行う看護師を育成しています。このような取り組みにより、医療・看護の質の向上に繋がると期待しています。

地域貢献としても、西部地区のみならず、静岡県全体の医療の主導的な役割を担っています。既に静岡県の勤務医の約3割を浜松医大卒業生等、医局関係者が占めており、600床以上の大病院3施設を含め、30人近い病院長を輩出しています。そのほかにも、県医師会理事や市町の医師会長、県や市町の医療行政の幹部として浜松医大関係者が活躍しています。直近では医学科卒業生の64%、70名以上が県内に残っており、全国的にも地元定着率が極めて高い大学です。

注目されている静岡大学との大学再編を伴う新法人設立は、いろいろな困難を乗り越えながら令和4年度新大学設立を目指して、関係者が一丸となって尽力しています。浜松に創設する医学・工学・情報学の3学部を有する新たな大学は、独創的な医療機器の開発や医療システムの構築、さらにはデータサイエンスを活用した予防医学及び検診体制、AIを活用した救急・遠隔医療などSociety 5.0における医療の在り方を提案できると考えています。この新大学が校となり、「健康寿命トップクラス」である地域特性を生かし、少子高齢化社会における新たな産業の創出や、地域創成における「知の拠点」を目指したいと考えています。

現在、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界中で蔓延し、人類社会に極めて深刻な影響を及ぼしていますが、本学においては、幸いなことに、医療従事者や学生には感染者は未だ発生しておらず、現時点で最も重要な私たちのミッションである、診療が継続できています。救急を含む外来診療も手術などの入院診療も概ね順調に行われています。いち早く感染対策を徹底したことや、防疫意識の高さなど、偏に附属病院関係者の不断的努力による賜物です。教育に関しては、4月上旬からオンライン授業を開始したため、ほとんどカリキュラムの遅れがありません。オンライン授業も教員と学生、双方の経験値が上り、次第に内容に富んだ授業ができるようになりました。学生も遠慮なく意見を言えるなど、オンラインならではの利点も明確になってきました。解剖実習は既に予定通り行われており、今後グループディスカッションなどの対面授業も開始されます。今後は対面とオンラインの優れた点を取り入れた「ハイブリッド」形式で授業を行う予定です。

特筆すべきこととして、本学では東海、北陸地区大学で唯一5、6年の臨床実習が継続されています。これも病院関係者の理解と支援によるものですが、このような緊迫した状況だからこそ、医療人の資質を涵養できる機会であると思っています。

今回のコロナ禍では教職員、学生全てが全面的に防疫対策に協力し、「チーム浜松医大」としての真価を発揮してくれましたが、今後も一人一人が自らの責務を果たす中で、自らの夢を持ち、実現するために努力する、それが結果的に浜松医大の持続的な成長に繋がる、そんな組織でありたいと願っています。

Forty-six years has passed since Hamamatsu University School of Medicine (HUSM) was established. At the end of last academic year, the number of graduates had reached 4,169 in the Faculty of Medicine and 1,495 in the Faculty of Nursing. Our graduates are active, not only in local but also in nationwide medical practice, in research and in government-related fields. As is enshrined in our Foundation Vision, our mission is “to grow up excellent medical personnel, introduce the results of original research to the world, and play a leading role in local medical treatments”. This vision has been a compass guiding the university administration over the past half a century since the university was first established. Even in the modern era of striking technological advancement and specialization in medicine and nursing, the enshrined vision is evident as an unshakable, nobility of spirit.

It has been 16 years since the incorporation of national universities. The leadership under the president has strengthened throughout the administration of the university; as such the responsibilities have also increased dramatically. During this time, the three generation of presidents including myself have played a central role, working alongside with faculty and staff on a multitude of reforms. By maintaining a high pass rate on national examinations for doctors, nurses, and public health nurses, we have nurtured excellent healthcare workers who contribute to community medicine as well as in developing original research. Thus, we have generated our own unique ‘strengths’, such as collaborations with the industries and the government.

From the beginning of the third medium-term objectives period, we have been promoting social contribution and reforms with a view to the future; focusing on education, research, and medical care as the mission of National University Corporation to further enhance each field. In addition, due to favorable hospital profits, we have also continued to conduct planned development of new and renovated university facilities and infrastructure.

In education, by increasing the weight on University original entrance exams and conducting presentations in addition to interviews, we have preempted the recent nation’s direction of shifting the exam from testing the “memorization capability” to “capabilities of logical thinking, judgment, and expressive power”. Moreover, the diploma policy (degree awarding standards) has been revised, stipulating that in addition to the attainment of the basic knowledge and skills of medicine and nursing, the ability to extract and resolve issues independently should be acquired. Also, greater humanity, high ethical standards and communication skills are clearly indicated as necessary for the practice of patient-centered team care. Furthermore, with the cultivation of the ‘researcher mindset’, we constantly teach scientific perspectives and thinking, and provide opportunities to engage in research such as the third-year basic medicine research program. Both the medical and nursing departments have developed a new curriculum in line with the new diploma policy to guarantee better quality of university education, and have increased the time required for interactive clinical practice. To foster medical professionals with an international sensibility, we offer opportunities to interact with international students to develop practical English language skills, and all students are offered the opportunity to take the Test of English for International Communication (TOEIC). As a result of these efforts, the number of students studying abroad has increased annually. Moreover, last year we established an International Center and allocated dedicated faculty members to facilitate greater convenience for overseas students and to promote international education and academic exchanges.

In postgraduate education, the Graduate School of Medicine & Nursing always fields an excess of applications, including those from overseas, ensuring the possibility of securing outstanding graduate students. Furthermore, a specialized gerontological nursing master’s degree course is scheduled to be offered starting in 2021. With the aim to offer a doctoral course from 2022, we continue to promote education with the goal of pursuing expertise and developing advanced human resources, even in the nursing department.

In terms of research, this university’s strengths are photomedical research and collaboration with industries and government. In order to strengthen research and development and human resource development functions, we have established the Preeminent Medical Photonics Education & Research Center, and are conducting research from “cells to humans”, allowing seamless spanning from basic medicine to clinical practice with the support of “Imaging-Complex System”. Moreover, we have established a doctoral course in the graduate school (Cooperative Major in Medical Photonics), and have started to develop highly specialized optical engineering personnel adept in the fields of medical engineering based on photomedicine. In addition to further regional collaboration with industry and government, we established the Promotion Center for Medical Collaboration & Intellectual Property, thereby strengthening collaboration between universities, government, finance and base hospitals. The amount of research achievements and research funding gained per full-time faculty member is consistently high even amongst national universities.

The primary mission of our University Hospital is to safely provide advanced medical care. While continuing to adequately fulfill the hospital’s mission, our business situation is exceptional; many indicators, such as the number of surgeries, are of the highest level, even with respect to other national universities. In response to the increase in the number of surgeries, a Medical Functionally-Enhanced Ward replete with a state-of-the-art operating room, radiation treatment room, endoscopic room, neonatal treatment room, and so on, will be completed in fiscal year 2021. We are also actively working on the enhancement of postgraduate education; the Postgraduate Clinical Education Center provides consistent support from initial training to specialist training. Furthermore, in order to promote team medical care, we have established the Advanced Nurse Training Center to foster nurses who perform designated procedures based on risk management. I hope that such efforts will lead to improvements in the quality of medical care and nursing.

In terms of contributing to the community, we play a leading role in medical care throughout the Shizuoka Prefecture, not just in the western region. Already around 30% of the doctors working in Shizuoka Prefecture are HUSM graduates or affiliates, and nearly 30 of our affiliates have been promoted to the position of directors in their respective hospitals including three base hospitals with more than 600 beds. HUSM affiliates are also active as senior officials in the prefectural and municipal medical administration, as chairpersons or directors of these associations. Most recently, 64% of the medical department graduates, that is, more than 70 people, are employed in the prefecture. Even nationally, the university has a very high local retention rate.

As the establishment of a new corporation through restructuring with Shizuoka University attracts attention, all those affiliated with the universities are working together with the aim of establishing a new university in fiscal year 2022. The new university, which will be located in Hamamatsu, will have three faculties: including medicine, engineering and informatics. It will be capable of proposing medical approaches for Society 5.0; such as development of original medical devices, construction of new medical systems, data science-based preventive medicine and screening systems, as well as emergency and telemedicine system utilizing AI. The new university will become the core; capitalizing on the region’s characteristic “high health and longevity” with an aim to become a “knowledge Hub” in regional innovation and creation of new industries in an aging society with fewer children.

Currently, COVID-19 is spreading worldwide, exerting a serious impact on human society. Fortunately, however, none of our university students or medical professionals have been infected as yet; and at the present time, we are continuing our vital mission to provide medical care. Outpatient care, including emergency care; and inpatient care, such as surgery, are generally on track. This is due to the constant efforts of the affiliated hospital personnel, such as the swift implementation of strict preventive measures and the high level of epidemic awareness. In terms of education, since online classes were started in early April, there has been little to no delay in curriculum delivery. Both faculties and students are gaining valuable experience in the online classes, making it possible for classes to become increasingly content-rich. Unique benefits of online study have come to light, such as students being less hesitant to share their opinions. Anatomy practices have run as scheduled and face-to-face classes, such as group discussions, will be started soon. In the future, we will be teaching in a “hybrid” format that incorporates the best of both face-to-face and online.

It is noteworthy that our university is the only one in the Tokai and Hokuriku areas which has continued clinical training for five and six year students. While this is also possible with the understanding and support of the hospital personnel, I believe that stressful situations like ones brought on by COVID-19, are an exceptional opportunity to cultivate better quality of health care professionals.

In the current COVID-19 crisis, all faculties and students have cooperated in the epidemic prevention measures, exhibiting the true worth of “Team HUSM”. I hope that this organization will be a place where individuals’ find their dream and work hard to achieve their goal while fulfilling their duty, which will lead to the enduring growth of Hamamatsu University School of Medicine.

教育目標

Goals

医学部医学科 Faculty of Medicine, School of Medicine

自学自習の態度・研究心の育成、人間性・倫理性の養成、国際性の習得およびプロフェッショナリズム(コミュニケーション能力、倫理観等)を身につけた人材の育成を目指しています。

The primary goal is to foster doctors with professionalism and ethical values who have inquiring minds, sincere humanity, international perspectives and excellent communication abilities.

医学部看護学科 Faculty of Nursing, School of Medicine

生命の尊厳を尊重する倫理観と豊かな人間性、科学的知識に裏付けられた看護実践能力をもつ看護専門職の育成を目指しています。

The primary goal is to graduate nursing specialists with ethical values and rich humanity to respect human dignity, and with practical clinical abilities supported by scientific knowledge.

大学院医学系研究科博士課程(医学専攻) Graduate School of Medicine Doctoral Degree Program

1. 研究者としての倫理と誠実な人間性を養う。
2. 国際的な視野を持ち、豊かな知性と教養を身につける。
3. 問題発見能力を身につける。
4. 医学・医療に関する高度の専門的知識と技術に基づく問題解決能力を身につける。
5. 学術論文の作成能力を身につける。
6. 生涯にわたり自立して学問を探究する姿勢を養う。

The primary goal is :

1. to foster academic integrity as a researcher,
2. to utilize an international perspective, thereby sharpening the intellect and cultivating their knowledge,
3. to promote the students' ability to analyse problems,
4. to gain the ability to carry out research based on highly professional knowledge and skills,
5. to develop their ability to write well organized and eloquent theses, and
6. to exercise their academic inquiring mind throughout their lifetime.

大学院医学系研究科修士課程(看護学専攻) Graduate School of Nursing Master's Degree Program

1. 特定の専門分野での看護実践の場における研究活動を通じて、高度な専門的知識と技術の向上・開発を図る能力を修得する。
2. 看護学教育と実践活動の場において、専門性の高い教育的機能を果たす能力を修得する。
3. 看護実践を通じて、専門性と倫理観に基づくケアの提供と研究を行える能力を修得する。
4. 看護の専門領域に関わる新しい課題にチャレンジできる高度な能力を修得する。
5. 文化的、社会的背景を考慮して健康問題を捉え、国内外で活躍できる高度な能力を修得する。

The primary goal is:

1. to acquire a highly professional knowledge of nursing and develop their skills through research in each specific field of practical nursing,
2. to acquire the ability to carry out a highly professional educational function in the field of nursing education and practice,
3. to acquire the ability to provide professional care based on practical ethics, and to do research thorough practical nursing,
4. to acquire the ability to tackle the challenging tasks of the nursing profession, and
5. to be able to understand health problems in terms of cultural and social diversity, and to be able to take part in nursing activities worldwide.

医学部

School of Medicine

医学科 Faculty of Medicine

高度の知識・技術及び豊かな人間性を身につけた臨床医並びに医学研究者を養成し、医学・医療の発展と人類の健康増進並びに福祉に貢献することを目的としています。

建学の理念に基づき、これまで多くの優れた臨床医を養成して静岡県はもとより全国各地の医療に貢献しつつ、最先端の研究も行っています。世界でも先駆的な研究の一例を挙げると、光を利用してがんを治療したり、光を用いて人体の機能を解析する新技術の開発があり、これの実践のための特別な研究センターを設けています。

また、卒業生は臨床医、医学研究者、医学教育者のみならず、産業医、医療福祉行政者などとしても活躍しており、活動分野は多岐にわたっています。



The Faculty of Medicine aims to produce physicians and medical researchers who have extensive medical knowledge, skills and well-rounded humanity. The faculty strives to contribute to the development of medicine, medical care, and to the enhancement of human health and welfare.

Based on our University's Foundation Vision, many excellent clinicians, who graduated from our University, are contributing to medical treatments both in Shizuoka Prefecture and nationwide. Our graduates are also engaging in state-of-the-art research at our University. New technologies are also being adopted by the Faculty in fields such as treatments of cancers and the development of advanced diagnostic techniques. In particular, The Preeminent Medical Photonics Education & Research Center was established for the promotion of advanced studies in the field of medical photonics.

Finally, our graduates play active roles not only as clinicians, medical researchers and medical educators, but also as industrial physicians and medical welfare administrators.

看護学科 Faculty of Nursing

看護の実践・研究・教育分野において国内外で活躍できる人材を育成することにより、看護学の発展と人類の健康増進並びに福祉に貢献することを目的としています。

本学では4年間の学部生活の間に学生が科学的考え方を身につけ、人への配慮ができる看護専門職に育つための教育を行っています。卒業生の中には本学大学院修士課程に進み、看護学教育・研究者への道を歩む者もいます。



The Faculty of Nursing aims to produce talented people who play active roles in the fields of practical nursing skills, nursing research, and education locally and globally. The faculty strives to contribute to the development of the nursing science and enhancement of human health and welfare.

Students develop their scientific thinking and kind consideration for others during 4 years of student life. Graduates can continue their professional development in the Master's Program of the Graduate School of Nursing to pursue careers in nursing education and as researchers.

入学定員及び現員 Admissions and the Present Number of Students

学 科 School of Medicine		1 年 1st yr.	2 年 2nd yr.	3 年 3rd yr.	4 年 4th yr.	5 年 5th yr.	6 年 6th yr.	合 計 Total
医 学 科 Faculty of Medicine	入学定員 120(5) Admission Quota	男 Male 77	85 (4)	69 (5)	78 (4)	71 (5)	73 (4)	453 (22)
		女 Female 41	38 (0)	49 (0)	41 (0)	50 (0)	44 (1)	263 (1)
	収容定員 715(25) Capacity	合 計 Total 118	123 (4)	118 (5)	119 (4)	121 (5)	117 (5)	716 (23)
看護学科 Faculty of Nursing	入学定員 70(10) Admission Quota	男 Male 2	4	1 (0)	3 (1)			10 (1)
		女 Female 58	58	67 (3)	65 (6)			248 (9)
	収容定員 260(20) Capacity	合 計 Total 60	62	68 (3)	68 (7)			258 (10)

医学科の()内は、第2年次編入学を内数で示す 看護学科の()内は、第3年次編入学を内数で示す

The numbers in () for the Faculty of Medicine indicate mid-course entry admissions to 2nd-year included in total.

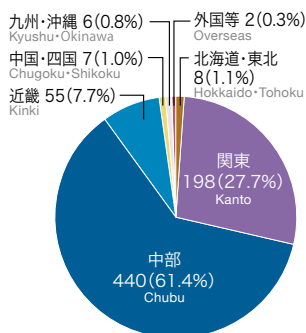
The numbers in () for the Faculty of Nursing indicate mid-course entry admissions to 3rd-year included in total.

令和2年5月1日現在

Data on May 1, 2020

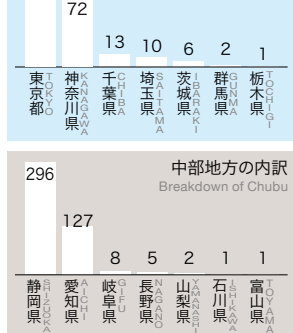
医学科地域別在学生数割合

Number & Proportion for the Faculty of Medicine by Region



看護学科地域別在学生数割合

Number & Proportion for the Faculty of Nursing by Region



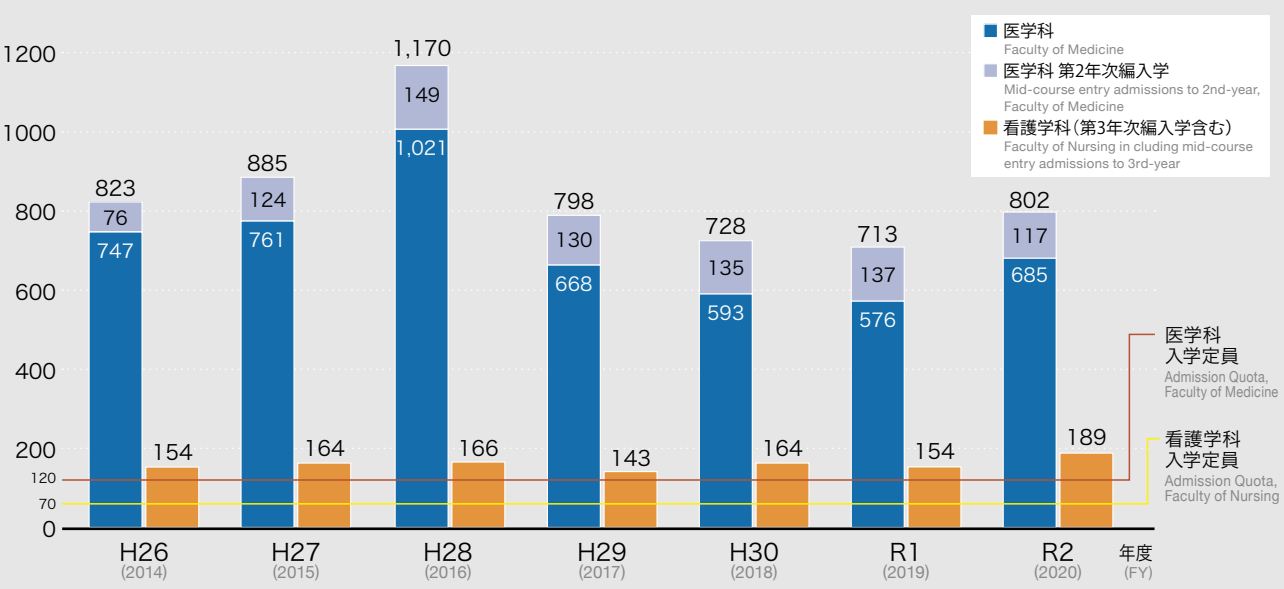
入学志願者及び入学者数 Applicants and Enrollment Number of Students

区 分 Classification	医 学 科 Faculty of Medicine						看 護 学 科 Faculty of Nursing					
	入学志願者 Applicants			入 学 者 Enrollment			入学志願者 Applicants			入 学 者 Enrollment		
	男 Male	女 Female	合計 Total	男 Male	女 Female	合計 Total	男 Male	女 Female	合計 Total	男 Male	女 Female	合計 Total
令和2年度 FY 2020	407 (75)	278 (42)	685 (117)	74 (4)	40 (0)	114 (4)	9 (4)	149 (27)	158 (31)	2 (0)	58 (3)	60 (3)
令和元年度 FY 2019	368 (91)	208 (46)	576 (137)	76 (5)	37 (0)	113 (5)	8 (2)	120 (24)	128 (26)	4 (1)	58 (6)	62 (7)
平成30年度 FY 2018	341 (96)	252 (39)	593 (135)	68 (4)	47 (0)	115 (4)	8 (5)	135 (16)	143 (21)	1 (2)	59 (5)	60 (7)
平成29年度 FY 2017	426 (89)	242 (41)	668 (130)	70 (5)	45 (0)	115 (5)	2 (3)	118 (20)	120 (23)	2 (3)	58 (5)	60 (8)
平成28年度 FY 2016	598 (107)	423 (42)	1,021 (149)	65 (4)	50 (1)	115 (5)	11 (11)	113 (31)	124 (42)	5 (3)	55 (7)	60 (10)
平成27年度 FY 2015	470 (91)	291 (33)	761 (124)	73 (3)	42 (2)	115 (5)	7 (1)	129 (27)	136 (28)	0 (1)	60 (9)	60 (10)
平成26年度 FY 2014	438 (50)	309 (26)	747 (76)	73 (4)	42 (1)	115 (5)	8 (1)	133 (12)	141 (13)	4 (1)	56 (8)	60 (9)

医学科の()内は、第2年次編入学を外数で示す 看護学科の()内は、第3年次編入学を外数で示す
The numbers in () for the Faculty of Medicine indicate mid-course entry admissions to 2nd-year not included in total.
The numbers in () for the Faculty of Nursing indicate mid-course entry admissions to 3rd-year not included in total.
令和2年度入学者の県内出身者 医学科47(41.2%)、看護学科34(56.7%)

令和2年5月1日現在
Data on May 1, 2020

入学志願者状況 Applicants for Admission



研究生数 Research Students

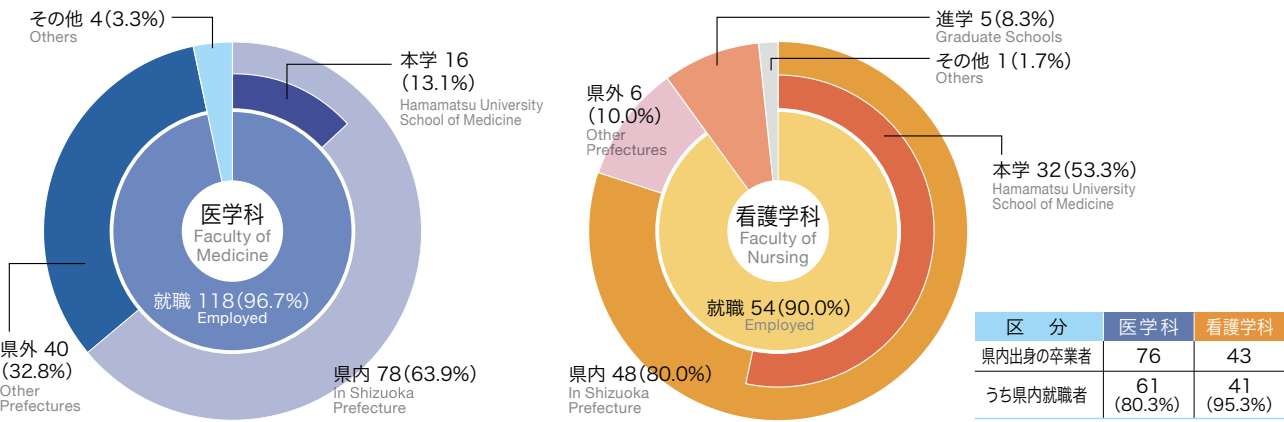
区 分 Classification	令和2年度 FY 2020
男 Male	3
女 Female	2
合計 Total	5

令和2年5月1日現在 Data on May 1, 2020

卒業者数 Number of Graduates

区 分 Classification	医 学 科 Faculty of Medicine							看 護 学 科 Faculty of Nursing						
	S54~H26 年度計 FY 1979~ 2014	H27年度 FY 2015	H28年度 FY 2016	H29年度 FY 2017	H30年度 FY 2018	R1年度 FY 2019	合 計 Total	H10~H26 年度計 FY 1998~ 2014	H27年度 FY 2015	H28年度 FY 2016	H29年度 FY 2017	H30年度 FY 2018	R1年度 FY 2019	合 計 Total
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
男 Male	2,608	82	72	79	85	78	3,004	56	3	7	6	4	6	82
女 Female	957	36	47	40	41	44	1,165	1,108	61	58	66	66	54	1,413
合 計 Total	3,565	118	119	119	126	122	4,169	1,164	64	65	72	70	60	1,495

令和元年度卒業者の進路状況 Locations of Graduates (Class 2019)



医師国家試験合格状況

Success Rates in the National Medical Practitioners Qualifying Examination

区 分 Classification	新 卒 New Graduates			既 卒 Reexaminees			総 数 Total			全国順位 National Ranking
	受験者 Applicants	合格者 Passed	合格率 Rate of Success	受験者 Applicants	合格者 Passed	合格率 Rate of Success	受験者 Applicants	合格者 Passed	合格率 Rate of Success	
第114回 2020 114th	122	118	96.7	6	5	83.3	128	123	96.1	17
第113回 2019 113th	126	121	96.0	5	4	80.0	131	125	95.4	11
第112回 2018 112th	119	116	97.5	6	4	66.7	125	120	96.0	9
第111回 2017 111th	119	114	95.8	4	3	75.0	123	117	95.1	10
第110回 2016 110th	118	114	96.6	1	0	0.0	119	114	95.8	13
第109回 2015 109th	105	105	100.0	2	1	50.0	107	106	99.1	1

保健師・看護師国家試験合格状況(既卒者を含む)

Success Rates in the National Medical Examinations for Public Health Nursing and Nursing

区 分 Classification	保 健 師 Public Health Nursing			区 分 Classification	看 護 師 Nursing		
	受験者 Applicants	合格者 Passed	合格率 Rate of Success		受験者 Applicants	合格者 Passed	合格率 Rate of Success
第106回 2020 106th	60	60	100.0	第109回 2020 109th	53	53	100.0
第105回 2019 105th	70	65	92.9	第108回 2019 108th	62	62	100.0
第104回 2018 104th	73	70	95.9	第107回 2018 107th	64	64	100.0
第103回 2017 103rd	65	64	98.5	第106回 2017 106th	55	53	96.4
第102回 2016 102nd	64	64	100.0	第105回 2016 105th	55	55	100.0
第101回 2015 101st	66	66	100.0	第104回 2015 104th	54	54	100.0

大学院医学系研究科

Graduate School of Medicine & Nursing

博士課程

Graduate School of Medicine Doctoral Degree Program

大学院医学系研究科博士課程(医学専攻)は、国際的にリーダーシップを発揮できる基礎医学研究者と臨床研究医を養成することを目的としています。即ち、光先端医学を中心に幅広い専門分野の授業科目を履修することを基礎に、基礎研究者を目指す学生には高度の専門的知識と技術を身につけ、独創的な先端研究を遂行できる能力を養成します。また、臨床研究医を目指す学生には、臨床研究を更に推進することができるような研究マインドを持ち、臨床の現場で広く求められる応用力を養成します。

This doctoral program aims to produce both basic medical researchers and clinical scientists who will take the leadership on global bases. Based on taking a broad range of classes including "advanced photo-medicine", the students for medical researchers should acquire high-level expert knowledge and skills to perform creative research. On the other hand, the students for clinical scientists should acquire the ability to apply a research mind to their own clinical practice.



博士後期課程(光医工学共同専攻)

Inter-university Curriculum Doctoral Course(Cooperative Major in Medical Photonics)

大学院医学系研究科博士後期課程(光医工学共同専攻)では、21世紀が抱える健康、医療、高齢化等の問題の解決に向け、光医工学に関する専門的な知識と技能を身につけ、光・電子工学と光医学の双方に精通し、かつ、高い見識と幅広い国際感覚、高い倫理観を有する人材を養成します。

The ideal program participant at the end of his or her coursework will have acquired the specialized knowledge and professional skills in medical photonics necessary to take on the challenge of finding solutions to 21st century problems in healthcare, medical treatment, aging, and other spheres, familiar with both opto-electronics and photomedicine, with heightened human awareness, a broad international perspective, and high ethical standards.



修士課程

Graduate School of Nursing Master's Degree Program

大学院医学系研究科修士課程(看護学専攻)では、これまで修得した専門的知識・技術を基盤に、科学的思考力、問題解決力、創造性と基礎的な研究能力を養い、高度な実践能力と倫理観を備えた高度専門職業人、教育者及び研究者を養成します。

また、開設した助産師養成コースでは、修了後助産師国家試験受験資格、受胎調節実施指導員申請資格が得られます。

This program aims to produce highly advanced nursing specialists, pedagogues, and researchers who have scientific thought, ability to notice and solve the problems, on the basis of fundamental capability for high-quality nursing knowledge and skills so far acquired. The graduates of the Midwifery Course gain a Master's degree and are qualified to take the National Midwifery Examination in Japan.



入学定員及び現員

Admissions and the Present Number of Students

博士課程 Doctoral Degree Program

区 分		Classification	1年 1st yr.	2年 2nd yr.	3年 3rd yr.	4年 4th yr.	合計 Total
医 学 専 攻 Medicine	入学定員	30 Admission Quota	35 (9)	29 (7)	33 (5)	49 (1)	146 (22)
	収容定員	120 Capacity	8 (1)	11 (2)	5	14 (2)	38 (5)
	合計	Total	43(10)	40(9)	38(5)	63(3)	184(27)
光先端医学専攻 Advanced Photo Medicine	※入学定員	11 Admission Quota	—	—	—	0	0
	※収容定員	44 Capacity	—	—	—	0	0
	合計	Total	—	—	—	0	0
高次機能医学専攻 Integrated Functional Medicine	※入学定員	5 Admission Quota	—	—	—	0	0
	※収容定員	20 Capacity	—	—	—	0	0
	合計	Total	—	—	—	0	0
病態医学専攻 Frontier Medicine	※入学定員	8 Admission Quota	—	—	—	0	0
	※収容定員	32 Capacity	—	—	—	0	0
	合計	Total	—	—	—	0	0
予防・防御医学専攻 Infectious Disease Control & Preventive Medicine	※入学定員	6 Admission Quota	—	—	—	0	0
	※収容定員	24 Capacity	—	—	—	1	1
	合計	Total	—	—	—	1	1

()内は10月入学を内数で示す ※は平成23年度以前の定員を示す 令和2年5月1日現在 Data on May 1, 2020
The numbers in () indicate those students who enrolled in October included in total. *The upper limit of places number before the fiscal year 2011.

博士後期課程 Inter-university Curriculum Doctoral Course

区 分		Classification	1年 1st yr.	2年 2nd yr.	3年 3rd yr.	合計 Total
光医工学共同専攻 Cooperative Major in Medical Photonics	入学定員	3 Admission Quota	3	3	2	8
	収容定員	9 Capacity	0	0	1	1
	合計	Total	3	3	3	9

令和2年5月1日現在 Data on May 1, 2020

修士課程 Master's Degree Program

区 分		Classification	1年 1st yr.	2年 2nd yr.	合計 Total
看 護 学 専 攻 Nursing	入学定員	16 Admission Quota	3	9 (6)	12 (6)
	収容定員	32 Capacity	12	24 (9)	36 (9)
	合計	Total	15	33 (15)	48 (15)

()内は平成30年以前入学の長期履修者を内数で示す The number in () indicates Long-term Study Students included in total. 令和2年5月1日現在 Data on May 1, 2020

入学者数

Enrollment Number of Students

区 分	Classification	H26年度 FY 2014	H27年度 FY 2015	H28年度 FY 2016	H29年度 FY 2017	H30年度 FY 2018	R1年度 FY 2019	R2年度 FY 2020
博士課程 Doctoral Degree Program	男 Male	25 (2)	29 (0)	25 (0)	24 (5)	29 (7)	23 (9)	26
	女 Female	8 (0)	5 (0)	4 (2)	9 (2)	8 (2)	10 (1)	6
	合計 Total	33 (2)	34 (0)	29 (2)	33 (7)	37 (9)	33 (10)	32
博士後期課程 Inter-university Curriculum Doctoral Course	男 Male	—	—	—	—	2	3	3
	女 Female	—	—	—	—	1	0	0
	合計 Total	—	—	—	—	3	3	3
修士課程 Master's Degree Program	男 Male	3	1	2	4	2	3	3
	女 Female	13	15	14	12	13	14	12
	合計 Total	16	16	16	16	15	17	15

博士課程の()内は、秋入学を外数で示す The number in () indicate those students enrolled in October not included in total. 令和2年5月1日現在 Data on May 1, 2020

学位授与者数

Degrees Awarded

区 分	Classification	S58~H25 年度計 FY 1983~2013	H26年度 FY 2014	H27年度 FY 2015	H28年度 FY 2016	H29年度 FY 2017	H30年度 FY 2018	R1年度 FY 2019
博士課程(医学) Ph. D. (Doctoral course)		683	22	27	28	26	29	25
論文博士(医学) Ph. D. (Dissertation only)		512	5	9	14	10	9	12
修士課程(看護学) Master of Nursing (M.A.)		185	13	13	21	18	12	15
合 計 Total		1,380	40	49	63	54	50	52

令和2年5月1日現在 Data on May 1, 2020

研究生数

Research Students

区分	Classification	令和2年度 FY 2020
男	Male	22
女	Female	7
合 計	Total	29

令和2年5月1日現在 Data on May 1, 2020

助産師国家試験合格状況

Success Rates in the National Medical Examinations for Midwifery

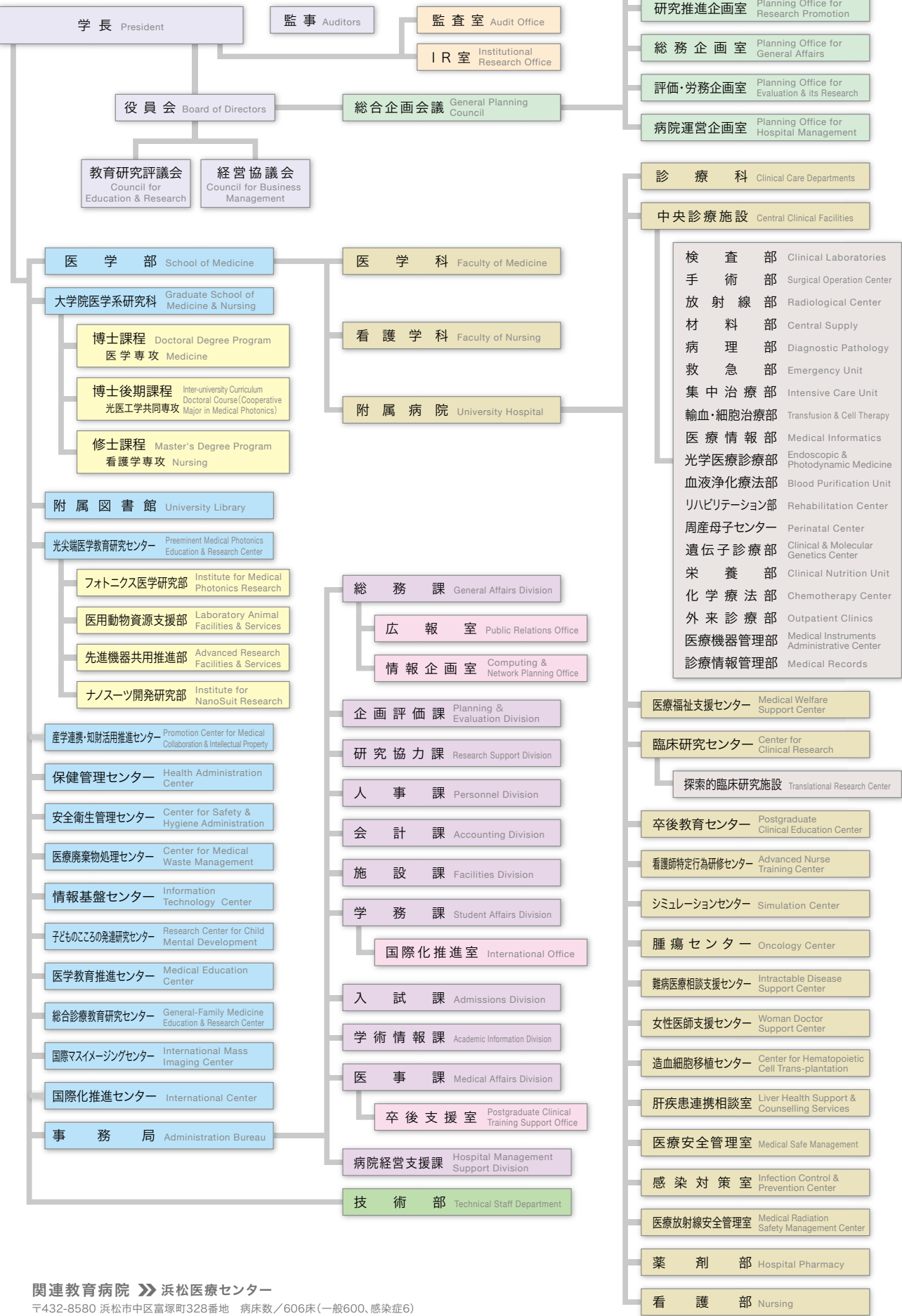
区 分	Classification	受験者 Applicants	合格者 Passed	合格率 Rate of Success
第103回 2020	103rd	5	5	100.0
第102回 2019	102nd	5	5	100.0
第101回 2018	101st	5	5	100.0
第100回 2017	100th	5	5	100.0
第99回 2016	99th	大学院修士課程へ移行1年目のため該当者なし N/A		
第98回 2015	98th	16	16	100.0

■大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所
こころの発達健康科学講座(浜松校)

Division of Neuropsychological Development and Health Sciences, Department of Child Development, United Graduate School of Child Development, Osaka University, Kanazawa University, Hamamatsu University School of Medicine, Chiba University and University of Fukui

組織 Organization

国立大学法人浜松医科大学 Hamamatsu University School of Medicine



関連教育病院 ≫ 浜松医療センター
〒432-8580 浜松市中区富塚町328番地 病床数／606床（一般600、感染症6）

役員等 Administrative Officers

学長 President	今野 弘之 KONNO Hiroyuki
--------------	----------------------

理事・副学長 Executive Directors/Vice Presidents		
教育・産学連携担当 for Education & Collaboration Development	山本 清二 YAMAMOTO Seiji	
企画・評価担当 for Planning & Evaluation	渡邊 裕司 WATANABE Hiroshi	

理事・事務局長 Executive Director/Executive Secretary		
財務担当 for Finance	田中 宏和 TANAKA Hirokazu	

理事 Executive Director		
経営担当 for Administration	非常勤 晝馬 明 HIRUMA Akira	

監事 Auditors		
	西山 仁 NISHIYAMA Hitoshi	
	非常勤 村本 淳子 MURAMOTO Junko	

経営協議会 Council for Business Management		
学長 President	今野 弘之 KONNO Hiroyuki	
理事(教育・産学連携担当)・副学長 Executive Director/Vice President	山本 清二 YAMAMOTO Seiji	
理事(企画・評価担当)・副学長 Executive Director/Vice President	渡邊 裕司 WATANABE Hiroshi	
理事(財務担当)・事務局長 Executive Director/Executive Secretary	田中 宏和 TANAKA Hirokazu	
理事(経営担当) Executive Director	晝馬 明 HIRUMA Akira	
副学長(病院担当) Vice President	(兼)教授 松山 幸弘 MATSUYAMA Yukihiro	
浜松市文化振興財団代表理事 Chair Person, Board of Directors, Hamamatsu Cultural Foundation	伊藤 修二 ITO Shuji	
医療研修推進財団顧問 Professor Emeritus, Keio University Adviser, Foundation for Promotion of Medical Training	猿田 享男 SARUTA Takao	
静岡県医師会会長 President, Shizuoka Medical Association	紀平 幸一 KINOHIRA Koichi	
浜松いわた信用金庫理事長 President & Chief Exective Officer, Hamamatsu Iwata Shinkin Bank	御室健一郎 MIMURO Kenichiro	
東京オリンピック・パラリンピック 競技大会組織委員会副事務総長 COO, The Tokyo Organising Committee of the Olympic and Paralympic Games	布村 幸彦 NUNOMURA Yukihiro	
堺市立病院機構理事長 President, Sakai City Hospital Organization	門田 守人 MONDEN Morito	
千葉大学大学院看護学研究科教授 Professor, Graduate School of Nursing, Chiba University	正木 治恵 MASAKI Harue	

副学長 Vice Presidents		
教育改革担当 for Educational Reform	(兼)教授 梅村 和夫 UMEMURA Kazuo	
情報・広報担当 for Information & Public Relations	(兼)教授 梶村 春彦 SUGIMURA Haruhiko	
研究担当 for Research	(兼)教授 北川 雅敏 KITAGAWA Masatoshi	
病院担当(病院長) for University Hospital	(兼)教授 松山 幸弘 MATSUYAMA Yukihiro	
産学連携・知財担当 for Medical Collaboration & Intellectual Property	(兼)教授 緒方 勤 OGATA Tsutomu	

学長特別補佐 Special Advisers to the President		
国際化促進担当 for Globalization Promotion	(兼)教授 福田 敦夫 FUKUDA Atsuo	

教育研究評議会 Council for Education & Research		
学長 President	今野 弘之 KONNO Hiroyuki	
理事(教育・産学連携担当)・副学長 Executive Director/Vice President	山本 清二 YAMAMOTO Seiji	
理事(企画・評価担当)・副学長 Executive Director/Vice President	渡邊 裕司 WATANABE Hiroshi	
理事(財務担当)・事務局長 Executive Director/Executive Secretary	田中 宏和 TANAKA Hirokazu	
副学長(教育改革担当) Vice President	(兼)教授 梅村 和夫 UMEMURA Kazuo	
副学長(研究担当) Vice President	(兼)教授 北川 雅敏 KITAGAWA Masatoshi	
副学長(病院担当) Vice President	(兼)教授 松山 幸弘 MATSUYAMA Yukihiro	
総合人間科学講座(情報医学) Biomedical Informatics, Integrated Human Sciences	教授 谷 重喜 TANI Shigeki	
再生・感染病理学講座 Regenerative & Infectious Pathology	教授 岩下 寿秀 IWASHITA Toshihide	
内科学第二講座 Internal Medicine 2(Divisions of Endocrinology & Metabolism, Respiratory Medicine & Hepatology)	教授 須田 隆文 SUDA Takafumi	
泌尿器科学講座 Urology	教授 三宅 秀明 MIYAKE Hideaki	
放射線腫瘍学講座 Radiation Oncology	教授 中村 和正 NAKAMURA Katsumasa	
麻酔・蘇生学講座 Anesthesiology & Intensive Care Medicine	教授 中島 芳樹 NAKAJIMA Yoshiki	
基礎看護学講座 Basic Nursing	教授 永田 年 NAGATA Toshi	
臨床看護学講座 Clinical Nursing	教授 佐藤 直美 SATO Naomi	

医 学 部 School of Medicine

医学科／総合人間科学講座 Integrated Human Sciences, Faculty of Medicine		
倫理学 Ethics	准教授 Associate Professor	長田 怜 OSADA Ryo
心理学 Psychology	准教授 Associate Professor	田中 悟志 TANAKA Satoshi
法学 Legal	教授 Professor	大磯義一郎 OISO Giichiro
数学 Mathematics	教授 Professor	古屋 淳 FURUYA Jun
物理学 Physics	教授 Professor	三浦 康弘 MIURA Yasuhiro
化学 Chemistry	教授 Professor	藤本 忠蔵 FUJIMOTO Chuzo
生物学 Biology	教授 Professor	前田 達哉 MAEDA Tatsuya
英語 English	教授 Professor	中安美奈子 NAKAYASU Minako
情報医学 Biomedical Informatics	教授 Professor	谷 重喜 TANI Shigeki

医学科／基礎講座 Basic Sciences, Faculty of Medicine

器官組織解剖学講座 Organ & Tissue Anatomy	教授 Professor	佐藤 康二 SATO Kohji
細胞分子解剖学講座 Cellular & Molecular Anatomy	教授 Professor	瀬藤 光利 SETOU Mitsutoshi
神経生理学講座 Neurophysiology	教授 Professor	福田 敦夫 FUKUDA Atsuo
医生理学講座 Medical Physiology	教授 Professor	浦野 哲盟 URANO Tetsumei
分子生物学講座 Molecular Biology	教授 Professor	北川 雅敏 KITAGAWA Masatoshi
医化学講座 Biochemistry	教授 Professor	才津 浩智 SAITSU Hirotoomo
腫瘍病理学講座 Tumor Pathology	教授 Professor	梶村 春彦 SUGIMURA Haruhiko
再生・感染病理学講座 Regenerative & Infectious Pathology	教授 Professor	岩下 寿秀 IWASHITA Toshihide
薬理学講座 Pharmacology	教授 Professor	梅村 和夫 UMEMURA Kazuo
細菌・免疫学講座 Bacteriology & Immunology	教授 Professor	堀井 俊伸 HORII Toshinobu
ウイルス・寄生虫学講座 Virology & Parasitology	教授 Professor	鈴木 哲朗 SUZUKI Tetsuro
健康社会医学講座 Community Health & Preventive Medicine	教授 Professor	尾島 俊之 OJIMA Toshiyuki
法医学講座 Legal Medicine	教授 Professor	渡部加奈子 WATANABE Kanako

看護学科 Faculty of Nursing

	教授 Professor	三浦 克敏 MIURA Katsutoshi
基礎看護学講座 Basic Nursing	教授 Professor	永田 年 NAGATA Toshi
	教授 Professor	片山 はるみ KATAYAMA Harumi
臨床看護学講座 Clinical Nursing	教授 Professor	佐藤 直美 SATO Naomi
	教授 Professor	鈴木 みずえ SUZUKI Mizue
	教授 Professor	武田江里子 TAKEDA Eriko
	教授 Professor	安田 孝子 YASUDA Takako
	教授 Professor	木戸 芳史 KIDO Yoshifumi
地域看護学講座 Community Nursing	教授 Professor	渡井 いずみ WATAI Izumi

医学科／臨床講座 Clinical Sciences, Faculty of Medicine

内科学第一講座 (消化器・腎臓・脳神経内科学分野) Internal Medicine 1 (Divisions of Gastroenterology, Nephrology & Neurology)	教授 Professor	宮嶋 裕明 MIYAJIMA Hiroaki
内科学第二講座 (内分泌・呼吸・肝臓内科学分野) Internal Medicine 2 (Divisions of Endocrinology & Metabolism, Respiratory Medicine & Hepatology)	教授 Professor	須田 隆文 SUDA Takafumi
内科学第三講座 (循環器・血液・免疫リウマチ内科学分野) Internal Medicine 3 (Divisions of Cardiology, Hematology & Rheumatology)	教授 Professor	前川裕一郎 MAEKAWA Yuichiro
精神医学講座 Psychiatry	教授 Professor	山末 英典 YAMASUE Hidenori
外科学第一講座 (心臓血管・呼吸器一般(内視鏡)・乳腺外科学分野) Surgery 1 (Divisions of Cardiovascular, Thoracic, General (Endoscopic) & Breast Surgery)	教授 Professor	椎谷 紀彦 SHIYA Norihiko
外科学第二講座 (消化器・血管外科学分野) Surgery 2 (Divisions of Gastroenterological & Vascular Surgery)	教授 Professor	竹内 裕也 TAKEUCHI Hiroya
脳神経外科学講座 Neurosurgery	教授 Professor	黒住 和彦 KUROZUMI Kazuhiko
整形外科科学講座 Orthopaedic Surgery	教授 Professor	松山 幸弘 MATSUYAMA Yukihiro
皮膚科学講座 Dermatology	教授 Professor	本田 哲也 HONDA Tetsuya
泌尿器科学講座 Urology	教授 Professor	三宅 秀明 MIYAKE Hideaki
眼科学講座 Ophthalmology	教授 Professor	堀田 喜裕 HOTTA Yoshihiro
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 Otorhinolaryngology/Head & Neck Surgery	教授 Professor	峯田 周幸 MINETA Hiroyuki
放射線診断学・核医学講座 Diagnostic Radiology & Nuclear Medicine	教授 Professor	五島 聡 GOSHIMA Satoshi
放射線腫瘍学講座 Radiation Oncology	教授 Professor	中村 和正 NAKAMURA Katsumasa
麻酔・蘇生学講座 Anesthesiology & Intensive Care Medicine	教授 Professor	中島 芳樹 NAKAJIMA Yoshiki
産婦人科学講座 Obstetrics & Gynecology	教授 Professor	伊東 宏晃 ITO H Hiroaki
小児科学講座 Pediatrics	教授 Professor	緒方 勤 OGATA Tsutomu
歯科口腔外科学講座 Dentistry & Oral & Maxillofacial Surgery	教授 Professor	加藤 文度 KATOU Fuminori
臨床検査医学講座 Laboratory Medicine	教授 Professor	前川 真人 MAEKAWA Masato
臨床薬理学講座 Clinical Pharmacology & Therapeutics	准教授 Associate Professor	乾 直輝 INUJI Naoki
救急災害医学講座 Emergency & Disaster Medicine	教授 Professor	吉野 篤人 YOSHINO Atsuto
臨床腫瘍学講座 Clinical Oncology	教授 Professor	山田 康秀 YAMADA Yasuhide

寄附講座 Departments by Donation

地域医療学講座 Regional Medical Management Studies	特任准教授 Associate Professor	松井 務 MATSUI Tsutomu
児童青年期精神医学講座 Child & Adolescent Psychiatry	特任教授 Professor	高貝 就 TAKAGAI Shu
臨床医学教育学講座 Medical Education	特任教授 Professor	五十嵐 寛 IGARASHI Hiroshi
地域周産期医療学講座 Regional Neonatal-Perinatal Medicine	特任教授 Professor	飯嶋 重雄 IIJIMA Shigeo
産婦人科家庭医療学講座 Obstetrics, Gynecology & Family Medicine	特任教授 Professor	杉村 基 SUGIMURA Motoi
産婦人科地域医療学講座 Obstetrics & Gynecology and Community Health	特任准教授 Associate Professor	鈴木 一有 SUZUKI Kazunao
地域家庭医療学講座 Family & Community Medicine	特任教授 Professor	井上真智子 INOUE Machiko
長寿運動器疾患教育研究講座 Geriatric Musculoskeletal Health	特任准教授 Associate Professor	大和 雄 YAMATO Yu
生殖周産期医学講座 Reproductive Perinatology	特任准教授 Associate Professor	村林 奈緒 MURABAYASHI Nao
周術期等生活機能支援学講座 Perioperative Functioning Care & Support	特任准教授 Associate Professor	平松 良浩 HIRAMATSU Yoshihiro
地域医療支援学講座 Regional Medical Care Support	特任准教授 Associate Professor	竹内 浩視 TAKEUCHI Hiromi

附属図書館 University Library

館 長 Director	(兼)教授 Professor	梶村 春彦 SUGIMURA Haruhiko
------------------	--------------------	------------------------------

保健管理センター Health Administration Center

センター長 Head	(兼)教授 Professor	山末 英典 YAMASUE Hidenori
---------------	--------------------	-----------------------------

光先端医学教育研究センター Preeminent Medical Photonics Education & Research Center

センター長 Director	(兼)教授 Professor	間賀田泰寛 MAGATA Yasuhiro
-------------------	--------------------	--------------------------

フォトンクス医学研究部 Institute for Medical Photonics Research		
部 長 Chairperson	(兼)教授 Professor	星 詳子 HOSHI Yoko
光イメージング研究室 Optical Imaging		
光ゲノム医学研究室 Photomedical Genomics		
システム分子解剖学研究室 Systems Molecular Anatomy	教授 Professor	瀬藤 光利 SETOU Mitsutoshi
分子病態イメージング研究室 Molecular Imaging	教授 Professor	間賀田泰寛 MAGATA Yasuhiro
イノベーション光医学研究室 Innovative Medical Photonics		
バイオフォトンクスイノベーション寄附研究室 HAMAMATSU BioPhotonics Innovation	特任教授 Professor	岡崎 茂俊 OKAZAKI Shigetoshi
生体機能イメージング研究室 Biofunctional Imaging	教授 Professor	尾内 康臣 OUCHI Yasuomi
生体医用光学研究室 Biomedical Optics	教授 Professor	星 詳子 HOSHI Yoko

医用動物資源支援部 Laboratory Animal Facilities & Services

部 長 Chairperson	(兼)教授 Professor	鈴木 哲朗 SUZUKI Tetsuro
---------------------	--------------------	---------------------------

先進機器共用推進部 Advanced Research Facilities & Services

部 長 Chairperson	(兼)教授 Professor	福田 敦夫 FUKUDA Atsuo
---------------------	--------------------	-------------------------

ナノスーツ開発研究部 Institute for NanoSuit Research

部 長 Chairperson	(兼)准教授 Associate Professor	河崎 秀陽 KAWASAKI Hideya
---------------------	-------------------------------	----------------------------

産学連携・知財活用推進センター Promotion Center for Medical Collaboration & Intellectual Property

センター長 Head	(兼)教授 Professor	緒方 勤 OGATA Tsutomu
---------------	--------------------	-------------------------

安全衛生管理センター Center for Safety & Hygiene Administration

センター長 Head	(兼)理事 Executive Director	田中 宏和 TANAKA Hirokazu
---------------	-----------------------------	----------------------------

医療廃棄物処理センター Center for Medical Waste Management

センター長 Head	(兼)教授 Professor	藤本 忠蔵 FUJIMOTO Chuzo
---------------	--------------------	---------------------------

情報基盤センター Information Technology Center

センター長 Head	(兼)教授 Professor	谷 重喜 TANI Shigeki
---------------	--------------------	------------------------

子どものこころの発達研究センター Research Center for Child Mental Development

センター長 Head	教授 Professor	武井 教使 TAKEI Noriyoshi
	特任教授 Professor	土屋 賢治 TSUCHIYA Kenji

医学教育推進センター Medical Education Center

センター長 Head	(兼)教授 Professor	梅村 和夫 UMEMURA Kazuo
---------------	--------------------	--------------------------

総合診療教育研究センター General-Family Medicine Education & Research Center

センター長 Head	(兼)教授 Professor	中村 和正 NAKAMURA Katsumasa
---------------	--------------------	-------------------------------

国際マスメージングセンター International Mass Imaging Center

センター長 Head	(兼)教授 Professor	瀬藤 光利 SETOU Mitsutoshi
---------------	--------------------	-----------------------------

国際化推進センター International Center

センター長 Head	(兼)教授 Professor	才津 浩智 SAITSU Hirotoomo
---------------	--------------------	-----------------------------

監査室 Audit Office

室 長 Head	大保 智則 OBO Tomonori
--------------	-------------------------

事務局 Administration Bureau

事務局長 Executive Secretary	田中 宏和 TANAKA Hirokazu
事務局次長(総務・教育担当) Deputy Secretary of General Affairs & Education	柿澤 稔 KAKIZAWA Minoru
事務局次長(病院担当) Deputy Secretary of Hospital	安田 浩明 YASUDA Hiroaki
総務課 General Affairs Division	課長 長井 亨悟 Manager NAGAI Kyogo
企画評価課 Planning & Evaluation Division	課長 根木 忠広 Manager NEGI Tadahiro
研究協力課 Research Support Division	課長 竹内美佐子 Manager TAKEUCHI Misako
人事課 Personnel Division	課長 伊藤一二三 Manager ITO Hifumi
会計課 Accounting Division	課長 鳥居 省司 Manager TORII Shoji
施設課 Facilities Division	課長 新美 雅則 Manager NIIMI Masanori
学務課 Student Affairs Division	課長 増間 芳雄 Manager MASUMA Yoshio
入試課 Admissions Division	課長 伊藤 幹雄 Manager ITO Mikio
学術情報課 Academic Information Division	課長 伊原 尚子 Manager IHARA Naoko
医事課 Medical Affairs Division	課長 山口 誠 Manager YAMAGUCHI Makoto
病院経営支援課 Hospital Management Support Division	課長 三浦 雅司 Manager MIURA Masashi

医学部附属病院 University Hospital

病院長 Director

松山 幸弘
MATSUYAMA Yukihiko

診療科（科長） Clinical Care Departments Heads

一般内科 General Medicine	教授 Professor	松山 幸弘 MATSUYAMA Yukihiko
第一内科診療科群 Internal Medicine 1	教授 Professor	宮嶋 裕明 MIYAJIMA Hiroaki
消化器内科 Division of Gastroenterology	准教授 Associate Professor	杉本 健 SUGIMOTO Ken
腎臓内科 Division of Nephrology	病院准教授 Associate Professor	安田日出夫 YASUDA Hideo
脳神経内科 Division of Neurology	教授 Professor	宮嶋 裕明 MIYAJIMA Hiroaki
第二内科診療科群 Internal Medicine 2	教授 Professor	須田 隆文 SUDA Takafumi
内分泌・代謝内科 Division of Endocrinology & Metabolism	講師 Senior Assistant Professor	佐々木茂和 SASAKI Shigekazu
呼吸器内科 Division of Respiratory Medicine	教授 Professor	須田 隆文 SUDA Takafumi
肝臓内科 Division of Hepatology	病院講師 Senior Assistant Professor	川田 一仁 KAWATA Kazuhito
第三内科診療科群 Internal Medicine 3	教授 Professor	前川裕一郎 MAEKAWA Yuichiro
循環器内科 Division of Cardiology	教授 Professor	前川裕一郎 MAEKAWA Yuichiro
血液内科 Division of Hematology	講師 Senior Assistant Professor	小野 孝明 ONO Takaaki
免疫・リウマチ内科 Division of Immunology & Rheumatology	病院准教授 Associate Professor	小川 法良 OGAWA Noriyoshi
精神科神経科 Psychiatry	教授 Professor	山末 英典 YAMASUE Hidenori
小児科 Pediatrics	教授 Professor	緒方 勤 OGATA Tsutomu
第一外科診療科群 Surgery 1	教授 Professor	椎谷 紀彦 SHIYA Norihiko
心臓血管外科 Division of Cardiovascular Surgery	教授 Professor	椎谷 紀彦 SHIYA Norihiko
呼吸器外科 Division of Thoracic Surgery	病院教授 Professor	船井 和仁 FUNAI Kazuhito
乳腺外科 Division of Breast Surgery	病院講師 Senior Assistant Professor	小倉 廣之 OGURA Hiroyuki
一般外科（内視鏡外科を含む） Division of General Surgery & Endoscopic Surgery	病院講師 Senior Assistant Professor	佐藤 正範 SATO Masanori
第二外科診療科群 Surgery 2	教授 Professor	竹内 裕也 TAKEUCHI Hiroya
上部消化管外科 Division of Esophago-Gastric Surgery	教授 Professor	竹内 裕也 TAKEUCHI Hiroya

副病院長 Vice Directors

渉外・広報担当 for Public Relations	(兼)教授 Professor	堀田 喜裕 HOTTA Yoshihiro
教育・研修担当 for Clinical Practice & Teaching	(兼)教授 Professor	中村 和正 NAKAMURA Katsumasa
運営・管理担当 for Management Reform	(兼)教授 Professor	三宅 秀明 MIYAKE Hideaki
リスクマネジメント担当 for Risk Management	(兼)教授 Professor	竹内 裕也 TAKEUCHI Hiroya
患者サービス担当 for Patient Service	(兼)看護部長 Head of Nursing	佐々木菜名代 SASAKI Nanayo

下部消化管外科 Division of Colorectal Surgery	教授 Professor	竹内 裕也 TAKEUCHI Hiroya
肝・胆・膵外科 Division of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	教授 Professor (事務取扱)	松山 幸弘 MATSUYAMA Yukihiko
血管外科 Division of Vascular Surgery	教授 Professor	竹内 裕也 TAKEUCHI Hiroya
脳神経外科 Neurosurgery	教授 Professor	黒住 和彦 KUROZUMI Kazuhiko
整形外科 Orthopaedic Surgery	教授 Professor	松山 幸弘 MATSUYAMA Yukihiko
皮膚科 Dermatology	教授 Professor	本田 哲也 HONDA Tetsuya
泌尿器科 Urology	教授 Professor	三宅 秀明 MIYAKE Hideaki
眼科 Ophthalmology	教授 Professor	堀田 喜裕 HOTTA Yoshihiro
耳鼻咽喉科 Otorhinolaryngology	教授 Professor	峯田 周幸 MINETA Hiroyuki
産科婦人科 Obstetrics & Gynecology	教授 Professor	伊東 宏晃 ITO Hiroaki
放射線科診療科群 Radiology	教授 Professor	中村 和正 NAKAMURA Katsumasa
放射線診断科 Diagnostic Radiology	教授 Professor	五島 聡 GOSHIMA Satoshi
放射線治療科 Radiation Therapy	教授 Professor	中村 和正 NAKAMURA Katsumasa
麻酔科蘇生科 Anesthesiology & Intensive Care Medicine	教授 Professor	中島 芳樹 NAKAJIMA Yoshiki
歯科口腔外科 Dentistry & Oral & Maxillofacial Surgery	教授 Professor	加藤 文度 KATOU Fuminori
リハビリテーション科 Rehabilitation	病院教授 Professor	山内 克哉 YAMAUCHI Katsuya
形成外科 Plastic & Reconstructive Surgery	特任教授 Professor	中川 雅裕 NAKAGAWA Masahiro
臨床薬理内科 Clinical Pharmacology & Therapeutics	教授 Professor (事務取扱)	松山 幸弘 MATSUYAMA Yukihiro
病理診断科 Diagnostic Pathology	病院教授 Professor	馬場 聡 BABA Satoshi
小児外科 Pediatric Surgery	特任教授 Professor	川原 央好 KAWAHARA Hisayoshi
救急科 Emergency Medicine	教授 Professor	吉野 篤人 YOSHINO Atsuto

中央診療施設（部長・センター長） Central Clinical Facilities Heads

検査部 Clinical Laboratories	教授 Professor	前川 真人 MAEKAWA Masato
手術部 Surgical Operation Center	教授 Professor	中島 芳樹 NAKAJIMA Yoshiki
放射線部 Radiological Center	教授 Professor	中村 和正 NAKAMURA Katsumasa
材料部 Central Supply	教授 Professor	中島 芳樹 NAKAJIMA Yoshiki
病理部 Diagnostic Pathology	病院教授 Professor	馬場 聡 BABA Satoshi
救急部 Emergency Unit	教授 Professor	吉野 篤人 YOSHINO Atsuto
集中治療部 Intensive Care Unit	特任准教授 Associate Professor	土井 松幸 DOI Matsuyuki
輸血・細胞治療部 Transfusion & Cell Therapy	病院教授 Professor	竹下 明裕 TAKESHITA Akihiro
医療情報部 Medical Informatics	教授 Professor	木村 通男 KIMURA Michio
光学医療診療部 Endoscopic & Photodynamic Medicine	教授 Professor	峯田 周幸 MINETA Hiroyuki
血液浄化療法部 Blood Purification Unit	病院教授 Professor	加藤 明彦 KATO Akihiko
リハビリテーション部 Rehabilitation Center	病院教授 Professor	山内 克哉 YAMAUCHI Katsuya
周産母子センター Perinatal Center	教授 Professor	伊東 宏晃 ITO Hiroaki
遺伝子診療部 Clinical & Molecular Genetics Center	教授 Professor	緒方 勤 OGATA Tsutomu
栄養部 Clinical Nutrition Unit	病院教授 Professor	加藤 明彦 KATO Akihiko
化学療法部 Chemotherapy Center	講師 Senior Assistant Professor	柄山 正人 KARAYAMA Masato
外来診療部 Outpatient Clinics	教授 Professor	須田 隆文 SUDA Takafumi
医療機器管理部 Medical Instruments Administrative Center	教授 Professor	中島 芳樹 NAKAJIMA Yoshiki
診療情報管理部 Medical Records	教授 Professor	前川裕一郎 MAEKAWA Yuichiro

医療福祉支援センター Medical Welfare Support Center

センター長 Head	特任教授 Professor	小林 利彦 KOBAYASHI Toshihiko
---------------	-------------------	------------------------------



昭和56年頃（1981）

臨床研究センター Center for Clinical Research

センター長 Head	(兼)教授 Professor	梅村 和夫 UMEMURA Kazuo
---------------	--------------------	------------------------

卒後教育センター Postgraduate Clinical Education Center

センター長 Head	(兼)教授 Professor	中村 和正 NAKAMURA Katsumasa
---------------	--------------------	-----------------------------

看護師特定行為研修センター Advanced Nurse Training Center

センター長 Head	(兼)特任准教授 Associate Professor	土井 松幸 DOI Matsuyuki
---------------	---------------------------------	------------------------

シミュレーションセンター Simulation Center

センター長 Head	(兼)特任教授 Professor	五十嵐 寛 IGARASHI Hiroshi
---------------	----------------------	---------------------------

腫瘍センター Oncology Center

センター長 Head	(兼)教授 Professor	中村 和正 NAKAMURA Katsumasa
---------------	--------------------	-----------------------------

難病医療相談支援センター Intractable Disease Support Center

センター長 Head	(兼)教授 Professor	宮嶋 裕明 MIYAJIMA Hiroaki
---------------	--------------------	---------------------------

女性医師支援センター Woman Doctor Support Center

センター長 Head	(兼)病院教授 Professor	山内 克哉 YAMAUCHI Katsuya
---------------	----------------------	---------------------------

造血細胞移植センター Center for Hematopoietic Cell Trans-plantation

センター長 Head	(兼)教授 Professor	緒方 勤 OGATA Tsutomu
---------------	--------------------	-----------------------

肝疾患連携相談室 Liver Health Support & Counselling Services

室 長 Head	(兼)病院講師 Senior Assistant Professor	川田 一仁 KAWADA Kazuhito
-------------	---------------------------------------	--------------------------

医療安全管理室 Medical Safe Management

室 長 Head	(兼)教授 Professor	竹内 裕也 TAKEUCHI Hiroya
-------------	--------------------	--------------------------

感染対策室 Infection Control & Prevention Center

室 長 Head	(兼)教授 Professor	前川 真人 MAEKAWA Masato
-------------	--------------------	-------------------------

医療放射線安全管理室 Medical Radiation Safety Management Center

室 長 Head	(兼)教授 Professor	五島 聡 GOSHIMA Satoshi
-------------	--------------------	-------------------------

薬剤部 Hospital Pharmacy

部 長 Head	教授	川上 純一 KAWAKAMI Junichi
-------------	----	---------------------------

看護部 Nursing

部 長 Head	佐々木菜名代 SASAKI Nanayo	
-------------	-------------------------	--



平成27年頃（2015）

職員数 Staff

区 分 Classification		学長 President	理事 Executive Directors	監事 Auditors	教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Senior Assistant Professors	助教 Assistant Professors	計 Total	事務等 Technical & Administrative Staff	合計 Grand Total
事務局等 Administration Bureau	男 Male	1	4	1					6	108	114
	女 Female			1					1	49	50
医学部 School of Medicine	男 Male				47 (5)	27 (5)	1	74 (18)	149 (28)	4	153 (28)
	女 Female				8 (1)	11 (1)	1	21 (5)	41 (7)	4	45 (7)
附属病院 University Hospital	男 Male				5 (3)	11 (4)	33 (3)	73	122 (10)	158	280 (10)
	女 Female						7 (3)	29 (3)	36 (6)	729	765 (6)
光先端医学教育研究センター Preeminent Medical Photonics Education & Research Center	男 Male				3 (1)	3		5 (2)	11 (3)	13	24 (3)
	女 Female				1	1		2 (1)	4 (1)	6	10 (1)
産学連携・知財活用推進センター Promotion Center for Medical Collaboration & Intellectual Property	男 Male							1 (1)	1 (1)		1 (1)
	女 Female						1	1 (1)	2 (1)	1	3 (1)
保健管理センター Health Administration Center	男 Male						1		1		1
	女 Female									1	1
医療廃棄物処理センター Center for Medical Waste Management	男 Male									2	2
	女 Female									1	1
子どものこころの発達研究センター Research Center for Child Mental Development	男 Male				2 (1)			2 (2)	4 (3)		4 (3)
	女 Female						1 (1)	3 (3)	4 (4)		4 (4)
医学教育推進センター Medical Education Center	男 Male						1 (1)		1 (1)		1 (1)
	女 Female										
国際化推進センター International Center	男 Male										
	女 Female						1 (1)		1 (1)		1 (1)
合 計 Total	男 Male	1	4	1	57 (10)	41 (9)	36 (4)	155 (23)	295 (46)	285	580 (46)
	女 Female			1	9 (1)	12 (1)	11 (5)	56 (13)	89 (20)	791	880 (20)
	合計 Total	1	4	2	66 (11)	53 (10)	47 (9)	211 (36)	384 (66)	1,076	1,460 (66)

()内は特任教員を内数で示す
休職者は除く

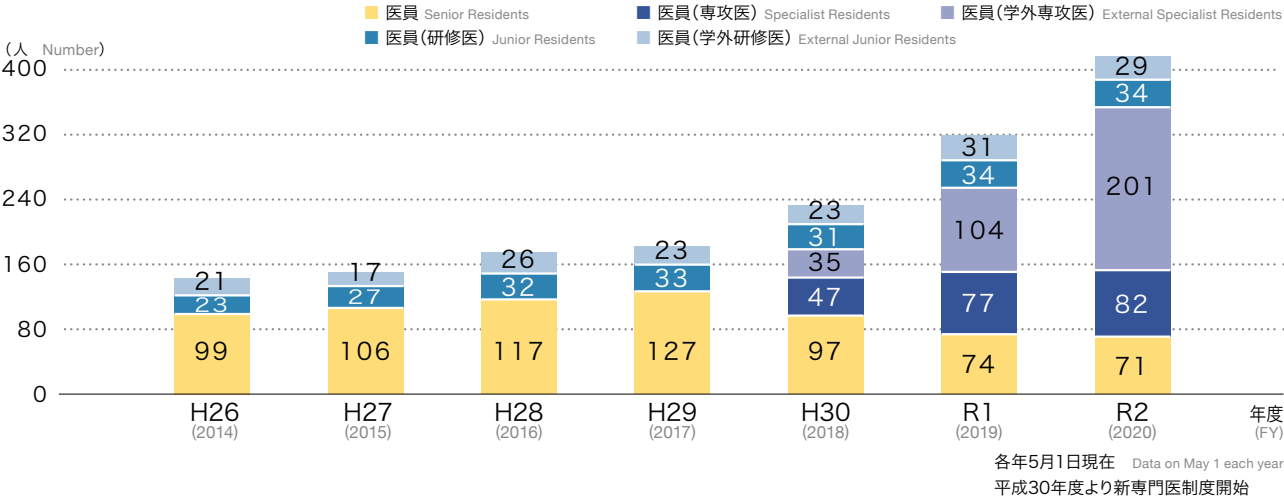
The numbers in () indicate contract-based staff

令和2年5月1日現在 Data on May 1, 2020

区 分 Classification	医員 Senior Residents	医員(専攻医) Specialist Residents	医員(研修医) Junior Residents	合 計 Total
男 Male	50	59	28	137
女 Female	21	23	6	50
合 計 Total	71	82	34	187

令和2年5月1日現在 Data on May 1, 2020

医員及び医員(専攻医・研修医)の推移 Transition of Senior, Specialist & Junior Residents



附属図書館 University Library

附属図書館は、Society5.0型図書館、スマート・ライブラリとして、学術情報の収集、提供のみでなく、本学で生産された論文や、授業の動画教材を発信するプラットフォームとして機能しています。

また、令和2年に全面改修を行い、福利施設棟と一体化し、国際化推進センター、書店などを配置し、学生生活の活動拠点として、様々な学修スタイルのニーズに応じた居心地の良い空間を提供しています。

さらには、静岡大学や浜松市立図書館との連携、近隣医療従事者への資料の貸出、県内外の病院図書室等と連携した文献複写提供サービスなど幅広いサービスを行っています。

The library has the functions of Society 5.0 and called "Smart Library". It not only collects and provides academic information, but also serves as a platform for transmitting academic papers produced by the University and video materials for lessons. It was completely renovated in 2020, integrated with Welfare Facilities, and set up International Center and a bookstore. As a student activity base, a cozy space that meets the needs of various learning styles is offered. In addition, we provide a wide range of services such as cooperation with Shizuoka University and Hamamatsu Municipal Library, lending materials to neighboring medical staff, and providing copy service of documents in cooperation with hospitals inside and outside the prefecture.

開館時間 Library Opening Hours

平日 Monday to Friday 9:00~20:00

土・日曜 Saturday & Sunday 10:00~17:00

本学構成員は、24時間入館可能な特別利用制度を利用できます。

24 hour access to the library is available to students and faculty members by registering their ID cards.

貴重資料

明治11~12年に浜松医学校
教官らが米国の医学書を翻訳
出版した『七科約説』

利用状況 Utilization

区 分 Classification		学内者 Intramural	学外者 Extramural	合 計 Total
入館者数 the Number of Visitors	開館時間内 Regular Hours	15,544	118	15,662
	開館時間外 After Hours	13,511	72	13,583
	合 計 Total	29,055	190	29,245

区 分 Classification	図 書 Books	雑 誌 Journals	視聴覚資料 AV Materials
貸出数 the Number of Items Borrowed	2,536	115	5

区 分 Classification	受付数(件) Requests Accepted	依頼数(件) Requests Made to Outside
文献複写 Copying Service	369	1,906

令和元年度 FY 2019

蔵書数 Library Collection

区 分 Classification	和 Japanese	洋 English	合 計 Total
図 書 Books	41,694	6,568	48,262
(うち視聴覚資料) (Include AV Materials)	883		883
雑 誌 Journals	427	333	760
電子書籍 eBooks	1,006	44	1,050

令和2年3月31日現在 Data on March 31, 2020

資料受入数 Books and Journals Accepted

区 分 Classification	和 Japanese	洋 English	合 計 Total
図 書 Books	1,898	132	2,030
(うち視聴覚資料) (Include AV Materials)	68		68
雑 誌 Journals	189	21	210
電子ジャーナル Electronic Journals	1,540		1,540
電子書籍 eBooks	166	0	166

令和元年度 FY 2019



1階 サイレントエリア
1st Floor Silent Area



1階 集密書庫
1st Floor Stacks



2階 コラボレーションエリア
2nd Floor Collaboration Area

学内共同教育研究施設

Joint-use Facilities for
Education and Research

光先端医学教育研究センター

Preeminent Medical Photonics Education & Research Center

TEL(053)435-2398

センター長 間賀田 泰寛

Director Prof. MAGATA Yasuhiro

フォトンクス医学研究部

Institute for Medical Photonics Research

TEL(053)435-2329

部長 星 詳子

Chairperson Prof. HOSHI Yoko

副部長 尾内 康臣

Vice Chairperson Prof. OUCHI Yasuomi

フォトンクス医学研究部は、光量子医学研究センターと分子イメージング先端研究センターの統合によるメディカルフォトンクス研究センターを母体とし、光・電子工学技術を活用した医学研究と、優れた医療人・研究者の育成を使命としています。革新的光イメージング技術と最先端医療技術・機器の開発、分子から個体までマルチレベルイメージングによる生体機能・構造研究、様々な疾患の治療・診断法確立を目指して、ヒト、動物、培養細胞・組織を対象とする多彩な研究を進めています。

The Institute for Medical Photonics Research was launched in 2016 based on the Medical Photonics Research Center. Our mission is to perform medical researches utilizing optoelectronic technologies and develop human resources. Current topics of this institute include: (1) developments of innovative optical imaging and cutting-edge medical technologies & instruments, (2) research of biomedical structure and function with multi-level imaging, and (3) elucidating pathogenesis and establishing diagnosis and treatment of various diseases.



医用動物資源支援部

Laboratory Animal Facilities & Services

TEL(053)435-2000

部長 鈴木 哲朗

Chairperson Prof. SUZUKI Tetsuro

副部長 高林 秀次

Vice Chairperson Associate Prof. TAKABAYASHI Shuji

医用動物資源支援部は動物実験施設の運営を担っており、光医学および医学研究全般における動物実験の場を提供しています。さらに、専門知識を持った職員が施設利用者に対して動物実験に関する知識及び技術の支援を行っています。具体的には遺伝子改変動物の作製などの発生工学支援及び静脈内投与など動物実験の支援を行っています。独自の研究としては、ヒト疾患モデル動物作製及び新規ゲノム編集技術の開発研究を行い、学内外共同研究の推進を図っています。

The Laboratory Animal Facilities & Services is responsible for the the management of the Institute for Experimental Animals, and provides a place for animal experiments in medical photonics and medical research for researchers and students. In addition, the professional staff for animal experiments provide facility users with knowledge and techniques related to developmental engineering and animal experiments. As our original research, we are developing human disease model animals and developing new genome editing technology.



産学連携・知財活用推進センター

Promotion Center for Medical Collaboration & Intellectual Property

TEL(053)435-2230, 2681

センター長 緒方 勤

Head Prof. OGATA Tsutomu

本学では、平成16年の国立大学法人化と同時に知財活用推進本部を設置し、さらに、平成31年に産学連携・知財活用推進センターへと組織改編を行いました。本センターでは、学内ニーズ・シーズ発掘、企業とのニーズ・シーズマッチング、研究支援・研究進捗管理、奨学寄附金・共同研究・受託研究等の受入審査・締結、知財の管理、研究成果・有体物管理、産学連携共同利用設備・施設管理運営、外部資金導入支援、学内外への情報発信などを実施しています。

The Promotion Center for Medical Collaboration & Intellectual Property was established in 2004 and reorganized in 2019. The mission of this Center includes (1) uncovering the needs/seeds within our University, (2) matching of needs/seeds between our University and appropriate companies, (3) research support and progress management, (4) examination and contact making of donations and collaborations, (5) administration of intellectual properties, (6) management of research products, (7) management of collaboration facilities and devices, (8) promotion of external funding, and (9) information dispatch within our University and social community. We would like to ask for your kind support of our Center.



本センターでは、本学の強みである「光技術とイメージングの医学応用」及び「産学連携によるものづくり」の実績を活かしつつ、さらに先鋭化して、他分野の方法・技術も取り入れながら、新たな基礎／応用研究・実用化開発・教育(人材養成)を医学部各講座とともに推進しています。

Based on our strengths in "optical technology and imaging in medical applications" and "manufacturing through industry-academia collaboration", this center aims to promote novel R&Ds (basic research, applied research and practical research) and developments of human resources while further sharpening past achievements and incorporating other fields methods and technologies in cooperation with each department of School of Medicine.

先進機器共用推進部

Advanced Research Facilities & Services

TEL(053)435-2300

部長 福田 敦夫

Chairperson Prof. FUKUDA Atsuo

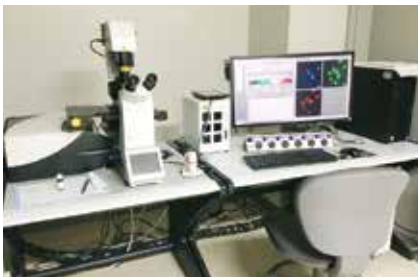
副部長 内田 千晴

Vice Chairperson Associate Prof. UCHIDA Chiharu

先進機器共用推進部は、先進機器研究推進室と機器共用支援部門から成り、医工連携拠点棟(平成31年3月8日完成)、基礎臨床研究棟、RI棟及び動物実験施設増設棟内に複数の共同実験室を有しています。当部の役割は、教育研究設備の共同利用及びその運営体制の統合により、研究の効率化と発展につなげることです。先進機器研究推進室では先進機器を活用した学内共同研究を推進し、機器共用支援部門では、専門知識と技術をもった職員が共用研究機器を用いた受託解析等を行い、本学の教育研究支援を担っています。

Advanced Research Facilities and Services (ARFS) comprise of Laboratory for Promotion of Advanced Research (LPAR) and Core Biotechnology Services (CBS).

The aim of LPAR is to contribute to promoting both basic and clinical research through utilization of instruments in ARFS and inter-departmental collaboration. The staff help researchers and directly contribute to the advancement of education and research in biomedical sciences. One of our collaborative areas addresses is the dysfunction of the cell cycle regulators, which could be a cause of several human diseases including cancers and chronic disorders.



ナノスーツ開発研究部

Institute for NanoSuit Research

TEL(053)435-2504

部長 河崎 秀陽

Chairperson Associate Prof. KAWASAKI Hideya

ナノスーツ開発研究部は、平成29年4月に新規設置されました。溶液から自立薄膜を形成させる「ナノスーツ®法」は、高真空中で生物体内からガスや液体が抜けることを防ぎ、生命維持できる技術です。このナノ薄膜を用いて高真空を必要とする電子顕微鏡で生きたまま・濡れたままの生体観察を可能としました。この研究部では、生物学・医学・材料科学など種々の学問分野を横断的に統合し、別々の方法と視点から、「ナノスーツ®法」の課題の解決を目指し、研究開発に努めます。

The Institute for NanoSuit Research was launched in 2017. Our research deals with the progressive development of the 'NanoSuit®' which acts as a flexible barrier to the passage of gases and liquids and thus protects many organisms in high vacuum conditions such as electron microscopes. Studies in this new field are combined with several different disciplines; biological, medical and material sciences. As individual scientists apply different methodological tools, their cross communication with various colleagues who tackle the same problems may produce multiple new findings.



保健管理センター

Health Administration Center

TEL(053)435-2156, 2158

センター長 山末 英典

Head Prof. YAMASUE Hidenori

保健管理センターは学生と職員の健康を保持・増進するために、昭和60年に設置されました。平成25年度に施設内部を全面改修し、医師・保健師・臨床心理士などを充実して、より一層プライバシーを尊重した環境で、「こころ」と「からだ」両面の相談が行えるようになりました。学内外の関連部門・施設とも連携しており、健康診断とその事後措置だけでなく、学内の環境衛生の整備、感染症対策、保健管理に関する調査・研究にも力を入れています。

This center contributes to the maintenance and promotion of the health of students and the staff, and thus to the achievement of student education and various activities of the university staff. We also conduct annual medical checks and medical consultations on both physical and mental health, as well as investigations of health problems.



安全衛生管理センター

Center for Safety & Hygiene Administration

TEL(053)435-2187

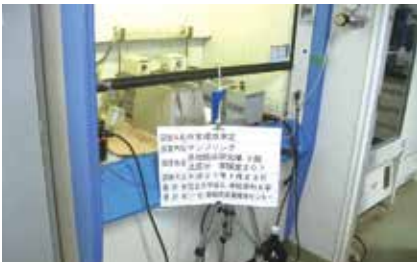
センター長 田中 宏和 Head Executive Director TANAKA Hirokazu

安全衛生管理センターは平成15年4月に設置され、安全衛生管理に関する全学的事項を企画・立案するとともに、教育・研究に伴って発生するおそれのある環境汚染、健康障害、事故及び災害に対する安全衛生管理の徹底を図ることを目的としています。

主な取組としては、労働安全衛生法ならびに関係法令規則に基づく学内巡視、作業環境測定、局所排気装置の自主検査、薬品管理状況調査、雇入時安全衛生教育等に加え、安全衛生講演会を毎年開催しています。

The Center for Safety & Hygiene Administration was founded in April 2003. The Center's primary missions are to draft plans to achieve projects concerning the University's hygiene and safety and to seek the thorough implementation of the guidelines for the prevention of environmental pollution, health hazards, accidents and disasters related to the University's educational and research activities.

The important objectives are: to assess the working environments according to the Industrial Safety and Health Law and related laws and regulations, to promote the safety and health of workers and to secure a safer and healthier working environment.



医療廃棄物処理センター

Center for Medical Waste Management

TEL(053)435-2159

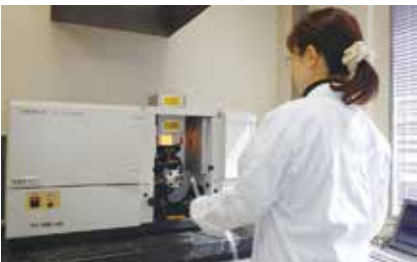
センター長 藤本 忠蔵 Head Prof. FUJIMOTO Chuzo

医療廃棄物処理センターでは、大学の研究室や病院から排出される廃水を活性汚泥や活性炭吸着などで適正に処理し、水質の分析を行ってから下水道に放流しています。また、廃溶剤、廃酸、不要になった薬剤や実験器具などを回収し、適切な処理方法により分類してから廃棄物処理業者に処分を委託しています。さらに、教職員・学生に対して、大学での廃水や医療系も含む廃棄物全般について分別処理方法の指導を行っています。

Wastewater from the University Hospital and laboratories is delivered to the sewage treatment plant in the Center for Medical Waste Management. The sewage treatment processes include settlement in a pool, activated sludge treatment with anaerobic and aerobic bacteria, sedimentation, coagulation, and filtration with sand and activated carbon. The treated wastewater is subjected to water examination before it is discharged into the public sewer.

Waste organic solvents, waste acid and alkaline solutions, unused chemicals, and failed apparatuses are collected at this center; the disposal of those wastes is outsourced.

Moreover, lectures on effluent treatment and separation of waste are provided to both students and staff.



情報基盤センター

Information Technology Center

TEL(053)435-2182

センター長 谷 重喜 Head Prof. TANI Shigeki

情報基盤センターは、学内のネットワーク、メールサーバ、大学HPなど各種基幹サーバ、情報系実習室など、大学の情報基盤を提供、運営しています。学内随所に無線LANのスポットが設置され、情報系実習室では教師と学生の双方向の画面提示や操作が可能となっています。今後も時代を先取りする情報基盤を提供していきます。

The Information Technology Center provides the information infrastructure of the university. It supports the network, email system, servers and information technology use, including the intermediation of document retrieval.

Our wireless network is designed to be a convenient supplement to the wired network for general functions such as Web browsing and email. Wireless "access points" located throughout many buildings and common areas of the campus allow compatible wireless devices to connect to the University's network with authenticated access to the Internet.

The University computer room for information processing allows interactive communication among students and teachers. The center contributes to the convenience of the user by its advanced Information Infrastructure.



子どものこころの発達研究センター

Research Center for Child Mental Development

TEL(053)435-2331

センター長 武井 教使 Head Prof. TAKEI Noriyoshi

同センターを設置する他大学(大阪大学、金沢大学、千葉大学、福井大学、弘前大学)と連携して、当センターは子どもの発達にかかわる研究に多面的、有機的に取り組んできています。本学センターでは一例として、浜松出生コホートを運営し、子どもの発達における、心理発達に限らず発達上の諸々の問題を明らかにしようと、長期追跡疫学調査を展開しています。また、同時に運営する連合小児発達学研究所(大学院)における教育活動を通して、子どものこころの専門家を育成してきています。

The center has been devoting itself to research linked with public health, mental health and various realms of developments in children, extending to multidisciplinary activities, while in collaboration with other universities (Osaka University, Kanazawa University, Chiba University, Fukui University, and Hirotsaki University). One of activities includes initiation of the Hamamatsu Birth Cohort (HBC) studies in which about 1,200 children have been followed up since November 2007 to ascertain a wide range of developments, i.e., physical health as well as neuropsychological milestones, to elucidate problems or hardship which children undergo and to discover preventive measures. At the same time, we are fostering professionals who specialize in the mind (mental health) of children through educational programs run by the United Graduate School of Child Development (postgraduate courses) under the joint-organization of 5 universities: Osaka U, Kanazawa U, HUSM, Chiba U, and Fukui U.



医学教育推進センター

Medical Education Center

TEL(053)435-2843

センター長 梅村 和夫 Head Prof. UMEMURA Kazuo

副センター長 五十嵐 寛 Vice Head Prof. IGARASHI Hiroshi

医学教育推進センターは、本学の教育に関する諸活動を体系的に行い、教育の質の向上を図ることを目的に、平成24年4月に設置されました。主な活動として、教育システム及びカリキュラム、PBL-チュートリアル教育、医学概論、参加型臨床実習等に関する調査、研究及び実施を行っています。

さらに、それらを横断的に統括し、より良いカリキュラムを構築するための活動をしています。また、教育学的理論に基づいたカリキュラム改革を進め、医学教育に関する最新情報の発信基地として位置づけられています。

The Medical Education Center was founded in April 2012. The Center manages, organizes and implements the education systems for the medical school of Hamamatsu University School of Medicine, including curriculums and evaluation systems especially for PBL (Problem-Based Learning), clinical clerkship, and Education for developing medical Professionalism. The mission of the Center is to keep our educational systems at world standard levels and to improve them progressively.



総合診療教育研究センター

General-Family Medicine Education & Research Center (GMEC)

TEL(053)435-2113

(総務課総務係)

センター長 中村 和正 Head Prof. NAKAMURA Katsumasa

副センター長 井上 真智子 Vice Head Prof. INOUE Machiko

地域で家庭医療を専門とする総合診療医の養成と地域への定着を促進し、静岡県地域医療の充実に貢献することを目的としています。学部学生の教育、医学部附属病院の初期研修プログラム、専門研修プログラムの総括・管理・運営、教育・研究の支援、推進体制・指導体制・地域との連携や調整等を行っています。教育研究の実務は、森町家庭医療クリニック、菊川市家庭医療センター、御前崎市家庭医療センター等の地域の現場で行っています。

The mission of the center is to train family physicians who provide primary care in local communities. The tasks of the center are to teach medical students, interns and residents the principles of family/general medicine and to develop and manage the educational programs enriched with support for research activities and cooperation with local governments. Clinical education is provided mainly at three community clinics in Mori-machi, Kikugawa and Omaezaki.



国際マスイメージングセンター

International Mass Imaging Center

TEL (053)435-2086

センター長 瀬藤 光利 Head Prof. SETOU Mitsutoshi 副センター長 梶村 春彦 Vice Head Prof. SUGIMURA Haruhiko

国際マスイメージングセンターは、平成28年4月に設置されました。米国、ドイツに並ぶアジアのグローバルデモ拠点として選出され、マスイメージングの手法の標準化に取り組んでいます。また、平成28年4月から先端研究基盤共用促進事業に採択され、ブルカー社、日本ウォーターズ及び株式会社島津製作所との共同研究の成果を基に同事業を促進しています。さらには浜松ホトニクス株式会社とも共同研究を遂行しています。

In April 2016, we launched the International Mass Imaging Center. This center was selected as a global demonstration base for Imaging Mass Spectrometry (IMS) technology in Asia. Our main mission is to standardize IMS techniques by international collaboration with IMS bases in the United States and Germany. We adopted the Operations for Promoting Science and Technology System Reform in April 2016, and are promoting the operation based on the achievement of the studies collaborated with Bruker K.K., Nihon Waters K.K. and Shimadzu Corporation. We are also engaged in collaborative research projects with HAMAMATSU Photonics K.K.



国際化推進センター

International Center

TEL (053)435-2208

(学務課国際化推進室国際渉外係)

センター長 才津 浩智 Head Prof. SAITSU Hirotomo

本センターは、本学の国際教育(留学生の受け入れや生活支援、学生の英語能力の強化等)、国際情報発信及び国際的学術交流(国際シンポジウムや大学間交流協定、共同研究コーディネート等)を推進することを目的として平成31年度に新たに設立されました。センター長、専任教員、学務課国際化推進室から構成され、全学的連携によって国際化を進めていきます。

This center promotes international education of our university (acceptance of foreign students and life support, strengthening the English ability of students, etc.), information dissemination to overseas, and international networking (international symposia, inter-university exchange agreement, collaborative research coordination, etc.). It was newly established in 2019. The Center Director, a full-time faculty member, and the internationalization promotion office, will promote internationalization through university-wide collaboration.



医学部附属病院 University Hospital

病院の
理念

患者さんの人権を尊重し、地域の中核病院として安全で良質な医療を提供する。
さらに、大学病院として高度な医療を追求しつつ優れた医療人を養成する。

基本方針

- 1. 患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療の提供
- 2. 社会・地域医療への貢献
- 3. 良質な医療人の育成
- 4. 高度な医療の追求
- 5. 健全な病院運営の確立



医学部附属病院(病床数613床)

看護体系

区 分	看護配置等	届出年月日
一般病棟	特定機能病院 入院基本料 7:1	平成21年5月1日
精神病棟	特定機能病院 入院基本料 13:1	平成23年7月1日

先進医療承認一覧

先進医療の名称	算定開始年月日
FDGを用いたポジトロン断層撮影によるアルツハイマー病の診断 アルツハイマー病	平成28年 1月1日
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検	平成30年 1月1日

令和2年4月1日現在

医療機関の指定状況等

法 令 等 の 名 称	許可機関名	指定等の年月日
医療法による開設許可(承認)	厚生労働省	昭和52年 3月29日
健康保険法による保険医療機関	厚生労働省	昭和52年 11月15日
国民健康保険法による保険医療機関	厚生労働省	昭和52年 11月15日
母子保健法による妊娠乳児健康診断	静岡県ほか一部の地方自治体	昭和53年 2月 1日
戦傷病者特別援護法による医療機関	厚生労働省	昭和53年 4月 1日
障害者自立支援法による指定自立支援医療(精神通院医療)	静岡県	昭和53年 7月 1日
母子保健法による養育医療	厚生労働省	昭和53年 7月22日
労災補償法による医療機関	静岡労働基準局	昭和53年 8月 1日
原爆医療法による一般医療疾病医療機関	静岡県	昭和54年 2月 1日
トトロラスト沈着症に対する定期検診の指定医療機関	静岡県	昭和54年 8月 1日
臨床修練指定病院(外国人医師・外国人歯科医師)	厚生労働省	昭和63年 3月29日
消防法による救急医療(救急病院)	静岡県	平成 4年 2月12日
特定機能病院の名称承認	厚生労働省	平成 7年 3月 1日
エイズ治療の拠点病院	静岡県	平成 8年 3月19日
地域災害拠点病院	静岡県	平成 8年12月26日
結核指定医療機関	浜松市	平成10年 6月17日
地域周産母子医療センター	静岡県	平成10年10月 1日
日本医療機能評価認定病院	公益財団法人日本医療機能評価機構	平成16年 4月19日
開放型病院	厚生労働省	平成17年 5月 1日
地域がん診療連携拠点病院	厚生労働省	平成19年 1月31日
難病医療拠点病院	静岡県	平成19年 4月 1日
後期高齢者医療保険取扱機関	厚生労働省	平成20年 4月 1日
静岡県肝疾患診療連携拠点病院	静岡県	平成21年 3月10日
静岡DMAT指定病院	静岡県	平成24年 3月 1日
障害者自立支援法による指定自立支援医療機関(育成医療)(更生医療)	浜松市	平成24年12月 1日
新型インフルエンザ等対策特別措置法における指定地方公共機関	静岡県	平成26年 2月25日
生活保護法による医療機関	厚生労働省	平成26年 7月 1日
難病の患者に対する医療法に関する法律(難病法)に係る指定医療機関	静岡県	平成27年 1月 1日
児童福祉法による指定小児慢性特定疾病医療機関	浜松市	平成27年 1月 1日
ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状に係る協力医療機関	静岡県	平成27年 2月 1日
がんゲノム医療連携病院	厚生労働省	平成30年 4月 1日
労働者災害補償保険義肢採型指導医療機関	静岡労働局	平成30年 7月 1日
静岡県アレルギー疾患医療拠点病院	静岡県	平成30年10月 1日
静岡県原子力災害拠点病院	静岡県	平成30年10月 1日
看護師特定行為研修指定研修機関	厚生労働省	平成31年 2月21日
静岡県難病診療連携拠点病院	静岡県	平成31年 3月28日
静岡県地域リハビリテーション協力機関	静岡県	令和 2年 3月31日

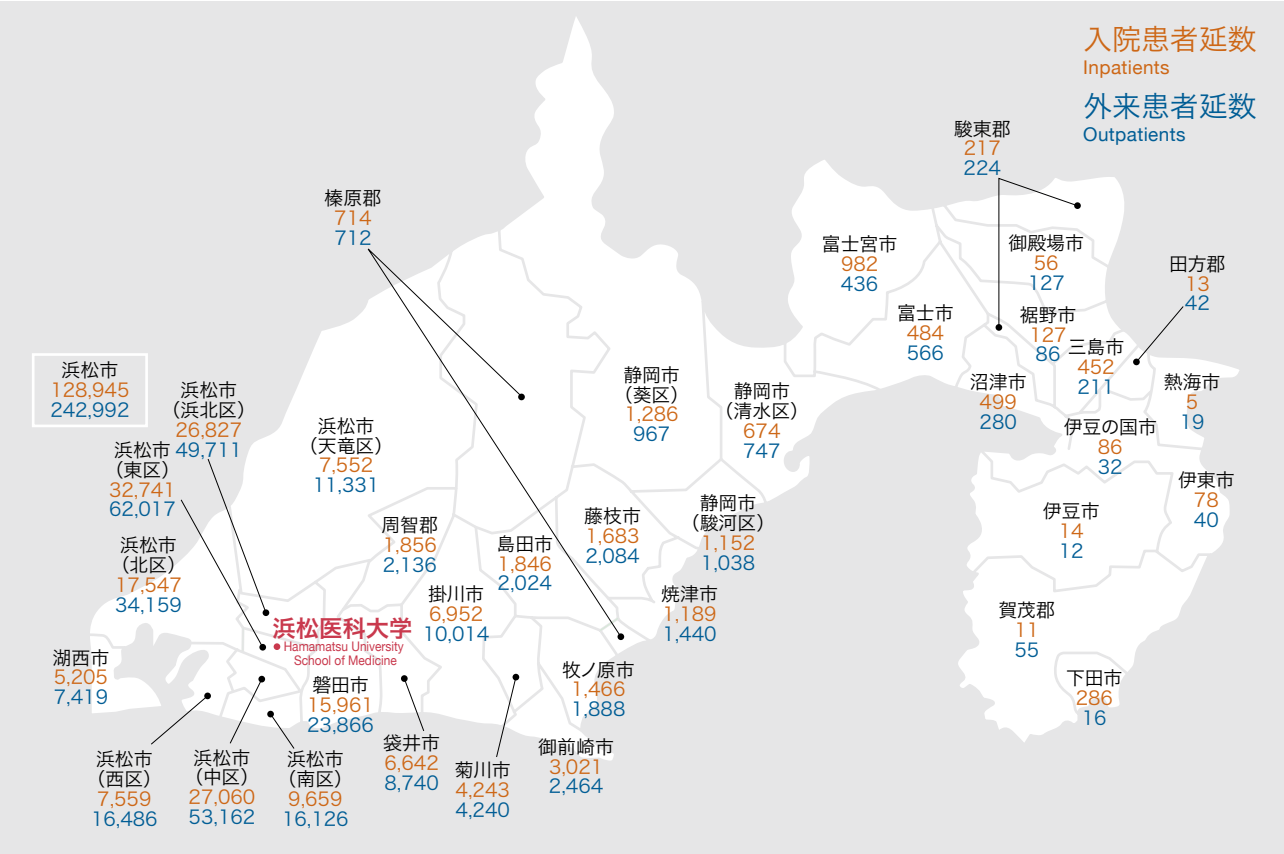


診療科別患者数 Clinical Activities

診療科 Clinical Care Departments			入院患者 Inpatients		外来患者 Outpatients	
			延数 Total	1日平均数 Average per Day	延数 Total	1日平均数 Average per Day
第一内科 Internal Medicine 1	消化器内科 Gastroenterology		8,716	23.8	13,657	56.7
	腎臓内科 Nephrology		5,264	14.4	7,206	29.9
	脳神経内科 Neurology		3,569	9.8	3,295	13.7
第二内科 Internal Medicine 2	内分泌・代謝内科 Endocrinology & Metabolism		2,006	5.5	23,274	96.6
	呼吸器内科 Respiratory Medicine		11,499	31.4	13,998	58.1
	肝臓内科 Hepatology		4,232	11.6	6,029	25.0
第三内科 Internal Medicine 3	循環器内科 Cardiology		11,108	30.3	14,332	59.5
	血液内科 Hematology		8,561	23.4	7,172	29.8
	免疫・リウマチ内科 Immunology & Rheumatology		2,714	7.4	4,646	19.3
	精神科神経科 Psychiatry		11,290	30.8	15,513	64.4
	小児科 Pediatrics		13,711	37.5	15,384	63.8
第一外科 Surgery 1	心臓血管外科 Cardiovascular Surgery		7,268	19.9	3,091	12.8
	呼吸器外科 Thoracic Surgery		3,201	8.7	2,489	10.3
	乳腺外科 Breast Surgery		1,101	3.0	7,673	31.8
	一般外科 General Surgery & Endoscopic Surgery		1,221	3.3	1,156	4.8
第二外科 Surgery 2	上部消化管外科 Esophago-Gastric Surgery		8,434	23.0	4,672	19.4
	下部消化管外科 Colorectal Surgery		5,103	13.9	5,456	22.6
	肝・胆・膵外科 Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery		3,735	10.2	3,127	13.0
	血管外科 Vascular Surgery		3,367	9.2	3,816	15.8
	脳神経外科 Neurosurgery		9,663	26.4	8,514	35.3
	整形外科 Orthopaedic Surgery		16,867	46.1	24,910	103.4
	皮膚科 Dermatology		4,432	12.1	22,672	94.1
	泌尿器科 Urology		10,877	29.7	15,817	65.6
	眼科 Ophthalmology		5,420	14.8	18,396	76.3
	耳鼻咽喉科 Otorhinolaryngology		11,404	31.2	21,258	88.2
	産科婦人科 Obstetrics & Gynecology		11,666	31.9	17,932	74.4
放射線科 Radiology	放射線診断科 Diagnostic Radiology		7	0.0	76	0.3
	放射線治療科 Radiation Therapy		1,434	3.9	9,263	38.4
	麻酔科蘇生科 Anesthesiology & Intensive Care Medicine		53	0.1	2,874	11.9
	歯科口腔外科 Dentistry & Oral & Maxillofacial Surgery		2,228	6.1	13,144	54.5
	リハビリテーション科 Rehabilitation		127	0.3	7,005	29.1
	形成外科 Plastic & Reconstructive Surgery		3,809	10.4	6,303	26.2
	臨床薬理内科 Clinical Pharmacology & Therapeutics		0	-	473	2.0
	小児外科 Pediatric Surgery		272	0.7	1,320	5.5
	救急部 Emergency Unit		1,416	3.9	3,974	16.5
	遺伝子診療部 Clinical & Molecular Genetics Center		0	-	2	0.0
	合計 Total		195,775	534.9	329,919	1369.0

令和元年度 FY 2019

静岡県内入院・外来患者延数 Total Number of Inpatients & Outpatients in Shizuoka Prefecture

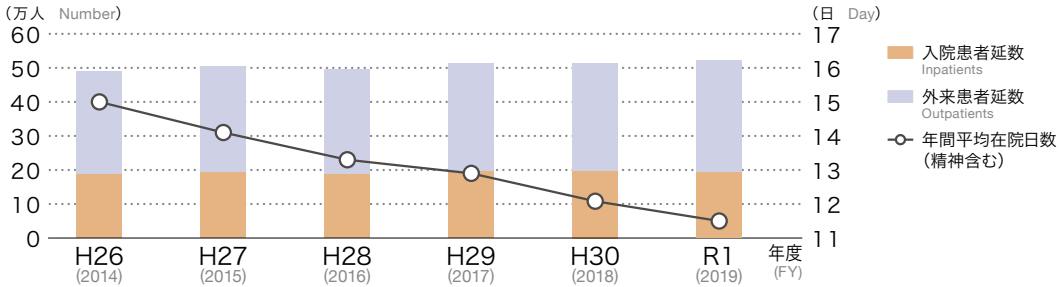


患者数の推移 Transition of Total Number of Inpatients & Outpatients

区分 Classification	H26年度 FY 2014	H27年度 FY 2015	H28年度 FY 2016	H29年度 FY 2017	H30年度 FY 2018	R1年度 FY 2019
入院患者延数 Inpatients	188,942	195,484	188,421	197,752	195,918	195,775
外来患者延数 Outpatients	301,724	308,746	307,389	314,867	321,082	329,919
年間平均在院日数(精神含む) Average length of stay (including mental)	15.0	14.1	13.3	12.9	12.1	11.5

年間平均在院日数については、実数での平均在院日数を示す(保険上の3か月平均在院日数ではない)

令和元年度 FY 2019



地域別患者数 Total Number of Inpatients & Outpatients by Regeion

東海 Tokai	入院患者延数 Inpatients	外来患者延数 Outpatients	その他 Other	入院患者延数 Inpatients	外来患者延数 Outpatients	その他 Other	入院患者延数 Inpatients	外来患者延数 Outpatients
静岡県 Shizuoka	186,145	314,917	北海道 Hokkaido	16	17	近畿 Kinki	301	271
愛知県 Aichi	7,197	12,663	東北 Tohoku	146	75	中国・四国 Chugoku・Shikoku	116	78
三重県 Mie	47	171	関東 kanto	1,096	1,199	九州・沖縄 Kyushu・Okinawa	277	114
岐阜県 Gifu	390	282	信越・北陸 Shinetsu・Hokuriku	44	130	合計 Total	195,775	329,917

令和元年度 FY 2019

国際交流International Exchanges

国際交流協定・姉妹校Universities with Agreements for Cooperation

大学名等（国名）University (COUNTRY)		締結開始日 Agreement Started	協定等の内容 Cooperation Contents
中国医科大学(中国)	China Medical University (CHINA)	1988. 4. 29	姉妹校協定 Sister School
慶北大学校医科大学(韓国)	Kyungpook National University School of Medicine (KOREA)	1992. 9. 7	学術交流協定 Academic Exchange
慶北大学校看護大学(韓国)	Kyungpook National University College of Nursing (KOREA)	2005. 9. 23	学術交流協定 Academic Exchange
上海交通大学医学院(中国)(旧：上海第二医科大学)	Shanghai Jiao Tong University School of Medicine (CHINA)	2000. 3. 24	学術交流協定 Academic Exchange
フライブルク大学医学部(ドイツ)	Faculty of Medicine, Albert-Ludwigs University of Freiburg (GERMANY)	2003. 6. 30	学術交流協定 Academic Exchange
河南中医薬大学(中国)(旧：河南中医学院)	Henan University of Chinese Medicine (CHINA)	2003.12. 8	学術交流協定 Academic Exchange
比亚ウストク医科大学(ポーランド)	Medical University of Bialystok (POLAND)	2004. 4. 19	学術交流協定 Academic Exchange
ダッカ大学(バングラデシュ)	University of Dhaka (BANGLADESH)	2004.11. 12	学術交流協定 Academic Exchange
シャジャラール科学技術大学(バングラデシュ)	Shahjalal University of Science and Technology (BANGLADESH)	2004.11. 12	学術交流協定 Academic Exchange
ボンゴボンデュー セイク ムジブ医科大学(バングラデシュ)	Bangabandhu Sheikh Mujib Medical University (BANGLADESH)	2004.11. 12	学術交流協定 Academic Exchange
广西医科大学(中国)	Guangxi Medical University (CHINA)	2004.11.21	学術交流協定 Academic Exchange
ワルシャワ医科大学(ポーランド)	Medical University of Warsaw (POLAND)	2010. 4. 1	学術交流協定 Academic Exchange
ルブリン医科大学(ポーランド)	Medical University of Lublin (POLAND)	2010. 4. 5	学術交流協定 Academic Exchange
デュッセルドルフ大学(ドイツ)	Heinrich Heine University Düsseldorf (GERMANY)	2012. 8. 9	学術交流協定 Academic Exchange
ハワイ大学医学部(アメリカ)	University of Hawaii, John A. Burns School of Medicine (U.S.A.)	2012. 9. 6	学術交流協定 Academic Exchange
ヒッタイト大学(トルコ)	Hitit University (TURKEY)	2013.12. 17	学術交流協定 Academic Exchange
フィレンツェ大学生物学部(イタリア)	University of Florence, Department of Biology (ITALY)	2017.11.24	学術交流協定 Academic Exchange
ルワンダ大学医学・保健学部(ルワンダ)	University of Rwanda, College of Medicine and Health Sciences (RWANDA)	2018. 3. 6	学術交流協定 Academic Exchange
タマサート大学チュラポーン国際医学部(タイ)	Chulabhorn International College of Medicine, Thammasat University (THAILAND)	2018. 4. 24	学術交流協定 Academic Exchange

令和2年5月1日現在Data on May 1, 2020

外国人留学生International Students

国名 Country	大学院 Graduate Students		合 計 Total
	国費 Government	私費 Private	
中 国 China		13	13
バングラデシュ Bangladesh	2	9	11
ベトナム Vietnam		4	4
インド India		2	2
ルワンダ Rwanda		1	1
合 計 Total	2	29	31

令和2年5月1日現在Data on May 1, 2020

国際交流会館の概要International Residence

棟名 Building		単身棟 Single Type	世帯棟 Family Type
区 分 Classification			
建築面積 Architectural Area		206㎡	147㎡
建物延面積 Total Building Area		554㎡	567㎡
室数 Number of Rooms (Area)	単身室 Single (14㎡)	20	夫婦室 Couple (40㎡)
	ミーティングルーム Meeting Room (19㎡)	1	家族室 Family (59㎡)

令和2年5月1日現在Data on May 1, 2020



外国人留学生と研究者を対象に、山梨・長野への研修旅行を実施しました。忍野八海や富岳風穴・鳴沢氷穴の散策、諏訪大社下社秋宮の参拝や時計作り体験を通じて、日本文化への理解を深めました。

International Students and researchers visited the spring water pond Oshino Hakkai , Wind Cave and Ice Cave at the foot of Mt.Fuji and experienced watch-assembly workshop on a cultural excursion to gain more insights into Japan.



国際化推進の一環として留学生、学生、教職員の親睦を深め、英語コミュニケーション能力を向上させるため「English Café」を開催しています。

“English Café” was held with the aim to deepen friendship and interchange of students and staff and to improve their linguistic and communication skills.



国際交流会館
International Residence

臨床検査件数(院内検査) Number of Clinical Lab Tests		
検査項目 Test Item	件数 Number	
一般検査 Urinalysis and Other Body Fluids	124,120	
血液学的検査 Hematology	414,314	
生化学的検査 Clinical Chemistry	2,918,628	
病理学的検査 Pathology	17,998	
生理機能検査 Physiology	216,218	
採血・採液等 Collection of Blood and Other Body Fluids	94,565	
内分泌学的検査 Endocrinology	89,193	
免疫学的検査 Immunology	384,076	
微生物学的検査 Microbiology	34,148	
内視鏡検査 Endoscopy	11,127	
その他 Others	65,754	
合計 Total	4,370,141	

令和元年度 FY 2019

薬剤件数 Number of Prescriptions		
調剤薬 Prescription	院内外来処方箋 Outpatient Prescription (Hospital pharmacy)	4,746
	院外処方箋 Outpatient Prescription (Community pharmacy)	160,347
	入院処方箋 Inpatient Prescription	143,602
注射薬 Injection Prescription	外来注射箋 for Outpatient	36,224
	入院注射箋 for Inpatient	188,173

令和元年度 FY 2019

手術件数及び麻酔件数 Number of Surgical Operations & Anaesthesias			
手術件数 Number of Operations	合計 Total		7,650 (うち内視鏡手術 887) (Include 887 Endoscopic Surgery)
麻酔件数 Number of Anaesthesia	全身麻酔 General Anaesthesia		4,857
	局所麻酔 Local Anaesthesia		2,495
	脊椎・硬膜外麻酔 Spinal Epidural Anaesthesia		290
	その他 Others		8
	合計 Total		7,650

令和元年度 FY 2019

X線撮影及び透視件数 Number of X-Ray Examinations			
区分 Classification	患者数 Number of Patients		合計 Total
	入院 Inpatients	外来 Outpatients	
X線直接撮影 X-Ray Radiography	45,965	41,238	87,203
X線透視 X-Ray Fluoroscopy	1,464	4,247	5,711
CT	9,183	17,451	26,634
MRI	3,039	7,792	10,831
合計 Total	59,651	70,728	130,379

令和元年度 FY 2019

病理解剖件数 Number of Pathological Autopsy			
区分 Classification	男 Male	女 Female	合計 Total
死亡患者数 Deceased Patients	164	107	271
病理解剖件数 Number Subjected to Autopsy	16	9	25
剖検率(%) Autopsy Rate (%)	9.8	8.4	9.2
受託解剖件数 Autopsies Entrusted from Outside	4	2	6

令和元年度 FY 2019

分娩件数 Number of Births								
区 分 Classification	正常出生 体重児 (人) Normal Birth-weight Infant	低出生体重児(人) Low Birth-weight Infant					巨大児(人) Large Infant over 4000 g	合計(人) Total
		500g未満 Less than 500 g	500g～ 1,000g未満	1,000g～ 1,500g未満	1,500g～ 2,000g未満	2,000g～ 2,500g未満		
経膣分娩 Vaginal Delivery	408	4	1	1	4	35	2	455
吸引分娩 Vacuum Extraction	48	0	0	0	0	11	0	59
鉗子分娩 Forceps Delivery	0	0	0	0	0	1	0	1
予定帝王切開 Scheduled Caesarean Delivery	106	0	0	2	7	19	1	135
緊急帝王切開 Emergency Caesarean Delivery	47	0	5	9	15	8	0	84
計(総分娩件数) Total	609	4	6	12	26	74	3	734
死産(内数) Stillbirth (included in total number)		4						

令和元年度 FY 2019

救急患者数(来院原因別) Number of Emergency Cases by Causes						
疾 病 Diseases	傷 病 Injuries			妊 娠 Pregnancy	合 計 Total	
	事 故 Accidents		小 計 Total			
	交通 Traffic Accidents	中毒 Poisoning				その他 Others
6,599	406	81	1,317	1,804	598	9,001

令和元年度 FY 2019

地域・社会貢献

浜松医科大学では、教育、研究に次いで、社会貢献を第三の重要な事業活動と位置づけ、これに対する取組を進めています。医科大学としての社会貢献の第一は、附属病院における医療活動です。外来診療、入院治療、救急処置、検査等、多数の活動をしています。地域社会に対する様々な支援事業が第二の活動で、相談会や市民・中高生に対する各種講座を開催するなどしています。第三の活動として、大学の中で考案された新しい技術を実際に使えるものとして企業に移転したり、専門能力を生かして企業の事業化を支援したり、共同研究をしたりする産学官連携事業があります。

社会貢献事業への支援

本学における社会貢献活動を推進するため、教員等による活動実績に対して支援を行っています。

地域教育に対する活動

活 動 名	対 象	担 当
トレーナーによるスポーツ医学講習会	県西部の中学生、高校生とその指導者	健康社会医学講座
摂食障害フォーラム	一般市民、摂食障害当事者とその家族	精神科神経科
第3回浜松医科大学ブラック・ジャック セミナー	静岡県内の高校生	外科学第二講座
市民公開講座「前立腺についてのお話」	浜松市民	泌尿器科学講座
視覚障害者への接し方	小学生	眼科
がんの子どものトータルケア研究会静岡	がんの子どもとその家族、その他医療従事者等	小児科
しろわカフェ（住民教育および健康相談事業）	御前崎市家庭医療センター・しろわクリニック近隣の地域住民	地域家庭医療学講座
アフリカツメガエルの受精から卵割・胚発生並びに解剖を通して、科学・医学に対する興味・関心の育成	小学生、中学生、高校生	基礎看護学講座（健康科学）
トップガン教育システム協議会への参画	小学生等	光先端医学教育研究センター フォトニクス医学研究部 光ゲノム医学研究室
MRI装置を利用して、萌え断面を見つけてみよう！	地域住民、市内高校生、小学校高学年の生徒とその保護者	産学連携・知財活用推進センター
はままつ地域の産学官金連携コーディネータの支援	浜松市内の機関、企業等のコーディネータ	産学連携・知財活用推進センター
輸血と細胞医療に関する医学の紹介	県西部地区の中学生、高校生	輸血・細胞治療部
パネル展「遺伝性腫瘍当事者からの手紙」／市民公開講座	一般市民	遺伝子診療部
親子で学ぼう！ 感染対策2019～身近に潜む細菌を見てみよう～	小学生とその保護者	感染対策室
浜松市専門・認定看護師によるお助け講座	関連病院の看護師・介護士	看護部
CVポート管理講習会	地域の看護関係者	看護部

令和元年度

地域医療や公衆衛生に貢献する社会活動

活 動 名	対 象	担 当
地域・産業保健活動支援－講座の開催とコンサルテーション	自治体等	健康社会医学講座
慢性腎臓病患者に対するワクチン接種の普及	腎臓内科外来・入院患者	第一内科
みんなでロコトレ会	地域住民	整形外科科学講座
第30回静岡県こどもの精神保健フォーラム	子どもの精神保健に携わる医師（精神科・小児科）および 看護師、教諭、精神保健福祉士、臨床心理士、児童相談所職員、 自治体行政職員など	児童青年期精神医学講座
妊娠～育児期の女性とその家族の健康支援	地域住民	産婦人科家庭医療学講座
やらまいか倫理ケアnet 第1回年次集会	医療関係者	基礎看護学講座（基礎看護学）
多胎ピアサポーター養成講座&多胎家庭支援のポイント講座 （しずおか多胎ネット活動支援）	多胎児の母親、父親等	臨床看護学講座（成人看護学）
認知症模擬患者シミュレーション 看護研修プログラムを用いた急性期病院のベストプラクティスの構築	看護師、看護学生	臨床看護学講座（老年看護学）
さんぽ会 レクリエーション活動・宿泊体験の支援	在宅医療的ケアを必要とする子どもとその家族	臨床看護学講座（小児看護学）
女性の健康セミナー	浜松市民（女性）	臨床看護学講座（母性看護学）
診療所看護職のための研修会 ～地域医療でイキイキとした看護を続けていくために～	浜松市内の医療機関に勤務する看護関係者	地域看護学講座（公衆衛生看護学）

県西部病院材料部連絡協議会	災害拠点病院及び救護病院の18施設並びに 浜松市健康医療課、湖西市健康増進課、静岡県西部保健所、 静岡県地域医療課の4行政の担当者	材料部
IBD患者会フローラ	IBD（クローン病、潰瘍性大腸炎）患者	医療福祉支援センター
講演会 地域医療の質の向上を目指して －看護師特定行為研修説明会－	県内医療関係者	看護師特定行為研修センター

令和元年度

産学官連携活動

日々の教育・研究・診療の中から生まれる多くの研究シーズ、知的財産、ノウハウ、暗黙知等を「知」という大切な財産であると考えます。この「知」を他大学や民間機関等と連携して社会に還元していく産学官連携活動を積極的に進めています。

活動名	連携相手先	担 当
分析用器具に関する研究	企業（県外）	細胞分子解剖学講座
人の快・不快を数値化するための研究	企業（浜松市）	医生理学講座
レーザー血栓溶解治療システムの開発	企業（浜松市）、他機関	薬理学講座
透析治療を支援するための装置開発	企業（浜松市）	内科学第一講座
新規バイオマーカーの探索	企業（県外）	内科学第二講座
臨床研究データの新規解析	企業（県外）	精神医学講座
腹部大動脈瘤計測のためのソフトウェアに関する検討	企業（浜松市）	外科学第二講座
腹部大動脈瘤に対する薬剤の有用性検討	企業（県外）	外科学第二講座
造影剤を使用しない血管形状の計測法	企業（浜松市）	外科学第二講座
悪性グリオーマ治療に関する研究	企業（県外）、他機関	脳神経外科学講座
手術支援システムの開発	企業（浜松市）	整形外科科学講座
新規バイオマーカーの探索	企業（県外）	泌尿器科学講座
剥離子の開発	企業（浜松市）	泌尿器科学講座
小児の眼機能検査装置の開発	企業（県外）	眼科学講座
乳癌診断のための光マンモグラフィの開発と臨床評価	企業（浜松市）	放射線診断学・核医学講座、外科学第一講座
治療用マウススペースの開発	企業（浜松市）	放射線腫瘍学講座
臨床応用可能なセンサーシートの開発	企業（県外）	放射線腫瘍学講座
麻酔器の試作品作製	企業（県内）	麻酔・蘇生学講座
痛みの少ない医療機器開発	企業（浜松市）	産婦人科学講座
エンゼルストック®の効果検証と新製品開発	企業（県外）	産婦人科学講座
指および鉗子等装着型・皮膚貼付型バルスオキシメーターの開発	企業（県外）、他機関	産婦人科学講座、外科学第二講座、他
介護福祉装具に関する研究	企業（県外）	産婦人科学講座
患者管理システムに関する研究	企業（県外）、他機関	周術期等生活機能支援学講座
乳児における斜頭症・絶壁頭の防止用具の研究開発	企業（浜松市）	臨床看護学講座
介護福祉ケアに関する研究	企業（県外）	臨床看護学講座
精神的価値が成長する感性イノベーション拠点	企業（浜松市 他）、他機関	光先端医学教育研究センター フォトニクス医学研究部
加齢黄斑変性の新規原因遺伝子の探求に係る共同研究	企業（県外）	光先端医学教育研究センター フォトニクス医学研究部
DDS製剤の評価研究	企業（県外）	光先端医学教育研究センター フォトニクス医学研究部
生体吸収性材料に関する研究	企業（県外）	光先端医学教育研究センター フォトニクス医学研究部
はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	企業（浜松市 他）、他機関	研究協力課産学連携係 産学連携・知財活用推進センター
文科省 地域イノベーション・エコシステム形成プログラム	企業（浜松市 他）、他機関	光先端医学教育研究センター フォトニクス医学研究部
実験用器具に関する研究	企業（県外）	産学連携・知財活用推進センター
地域拠点強化実施可能性調査	企業（浜松市、他）、他機関	産学連携・知財活用推進センター
産学連携データベースに関する研究	企業（浜松市、県外）、他機関	産学連携・知財活用推進センター
NanoSuit®および微細塗布技術を応用した研究開発	企業（県内）	光先端医学教育研究センター ナノスーツ開発研究部
NanoSuit®法を用いた菌の評価に関する研究	企業（県外）	光先端医学教育研究センター ナノスーツ開発研究部
医療用の手袋に関する研究	企業（県外）	光先端医学教育研究センター ナノスーツ開発研究部
生物体表面での薬剤成分移行動態の解明と応用	企業（県外）	光先端医学教育研究センター ナノスーツ開発研究部
NanoSuit®の診断キットへの応用に関する研究	企業（県内）	光先端医学教育研究センター ナノスーツ開発研究部
NanoSuit®法による菌体等高感度検出技術の検討	企業（県外）	光先端医学教育研究センター ナノスーツ開発研究部
注視点検出技術を活用した発達障がい診断システムの開発	企業（県外）、他機関	子どものこころの発達研究センター
医療器具の保全・管理作業支援システム構築プロジェクト	企業（浜松市）	材料部
ドローンの医療分野への応用	企業（県外）	救急部
病院内設備に関する研究	企業（県外）	救急部
リハビリテーション分野の製品開発	企業（浜松市）	リハビリテーション部
疲労の定量化に関する研究	企業（浜松市）	リハビリテーション部
リハビリテーション分野の製品開発	企業（県内）	リハビリテーション部

令和元年度

公開講座

令和元年度公開講座「浜松医科大学の最新の手術」を令和元年11月4日に開催し、108名の一般市民が受講しました。

本公開講座は昭和54年から毎年開催しており、令和元年度で第41回目となりました。今後も地域の皆様のご期待に添えるような公開講座を開講し、大学の重要な使命の1つとして求められている地域社会への貢献に努めていきたいと考えています。



外部資金受入れ状況 External Funding

科学研究費助成事業 Grants-in-Aid for Scientific Research		
研究種目 Subject for Research	件数 Number	交付額(単位:千円) Amount of Money (thousand yen)
新学術領域研究 Scientific Research on Innovative Areas	2	47,710 (11,010)
基盤研究(A) Scientific Research	0	0 (0)
基盤研究(B) Scientific Research	19	99,320 (22,920)
基盤研究(C) Scientific Research	124	167,466 (38,646)
挑戦的研究(開拓) Challenging Research (Pioneering)	0	0 (0)
挑戦的研究(萌芽) Challenging Research (Exploratory)	7	19,370 (4,470)
若手研究(B) Young Scientists	7	5,850 (1,350)
若手研究 Young Scientists	44	75,166 (17,346)
研究活動スタート支援 Research Activity Start-up	3	3,510 (810)
特別研究員奨励費 JSPS Research Fellows	1	1,040 (240)
奨励研究 Encouragement of Scientists	10	5,400 (0)
合計 Total	217	424,832 (96,792)

()は間接経費を内数で示す
年度中の研究者の異動及び経費の繰越承認に伴う増減は含まない
The number in () indicates overhead expenses.

令和元年度 FY 2019

厚生労働科学研究費補助金 Health and Labour Sciences Research Grants		
件数 Number	金額(単位:千円) Amount of Money (thousand yen)	
6	50,300 (11,606)	

()は間接経費を内数で示す
年度中の研究者の異動及び経費の繰越承認に伴う増減は含まない
The number in () indicates overhead expenses.

令和元年度 FY 2019

奨学寄附金 Scholarship Endowment			
区分 Classification	件数 Number	金額(単位:千円) Amount of Money (thousand yen)	
一般 From individual	455	568,372	
助成金 Grant-in-aid	33	50,073	
合計 Total	488	618,445	

令和元年度 FY 2019

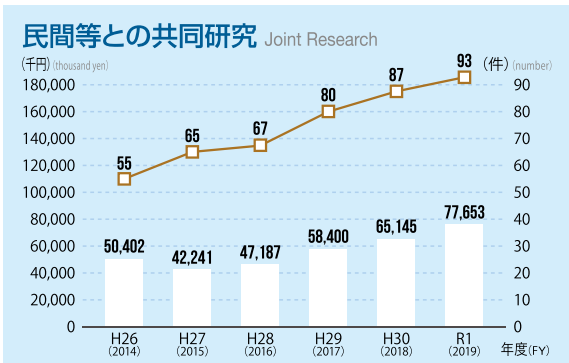
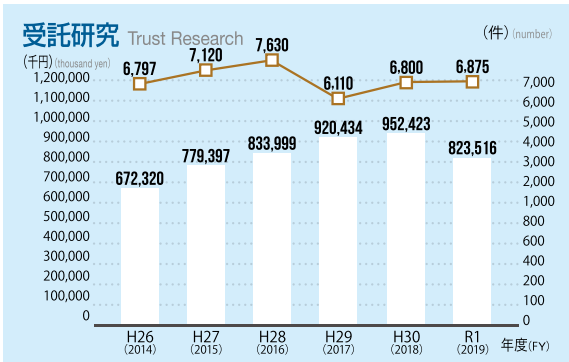
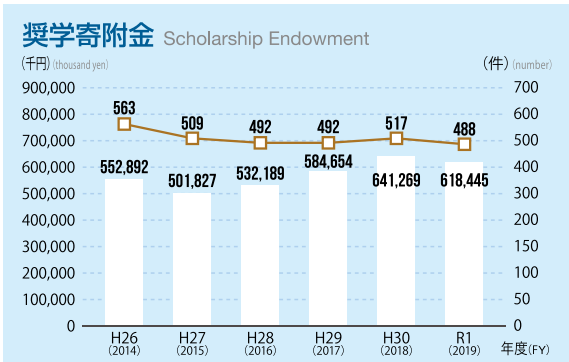
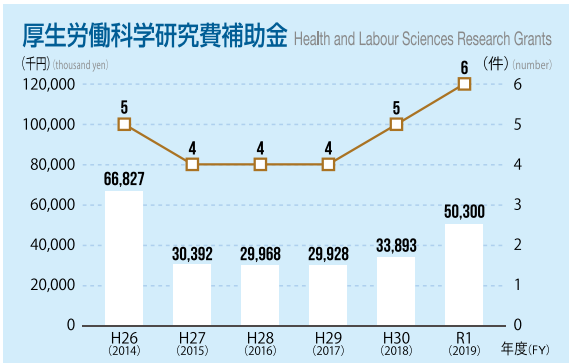
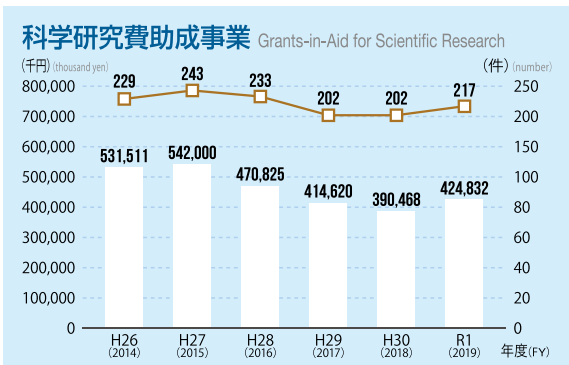
受託研究 Trust Research			
区分 Classification	件数 Number	金額(単位:千円) Amount of Money (thousand yen)	
一般 General Research	151	577,142	
治験 Clinical Trial	367	203,277	
病理組織検査 Clinical Histology	6,357	43,097	
合計 Total	6,875	823,516	

令和元年度 FY 2019

民間等との共同研究 Joint Research		
件数 Number	金額(単位:千円) Amount of Money (thousand yen)	
93	77,653	

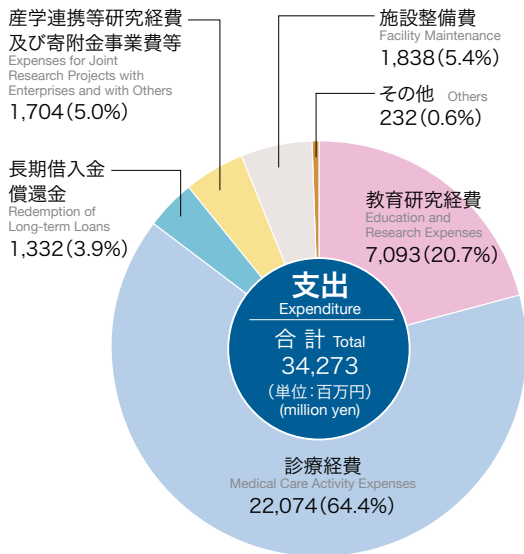
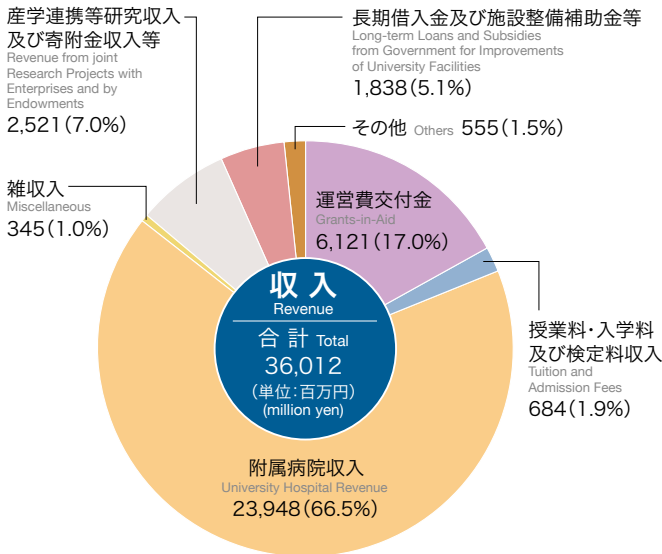
共同研究員費を含む
Joint Research funds included.

令和元年度 FY 2019



財務、土地及び建物 Accounts, Land & Buildings

令和元年度決算額 Accounts FY 2019



土地及び建物 Land & Buildings

区分 Classification	土地 (㎡) Land Area	建物 (㎡) Building Area		備考 Note
		建面積 Base Floor Area	延面積 Total Floor Area	
本部 Main office	265,206	10,444	22,934	管理棟、職員会館、福利施設棟、体育館、課外活動施設棟、エネルギーセンター、武道館、附属図書館、国際交流会館、弓道場、保育所、立体駐車場(職員用)、その他 Headquarters Bldg., Handayama Hall, Welfare Facilities, Gymnasium, Students Club Activities Facilities, Energy Center, Martial Art Center, Univ. Library, International Residence, Kyudo Ground, Nursery Center, Multilevel Car Parking for Staff and others
医学部 School of Medicine		9,088	42,167	講義実習棟、基礎臨床研究棟、医工連携拠点棟、臨床講義棟、RI 動物実験施設、看護学科棟、フoton研究棟、総合人間科学・基礎研究棟、その他 Educational Bldg., Basic and Clinical Research Bldg., Innovative Medical Collaboration Bldg., Clinical Lecture Bldg., RI Experimental Animals Inst., Nursing Faculty Bldg., Photon Research Bldg., Integrated Human Sciences & Basic Research Bldg. and others
附属病院 University Hospital		17,521	80,407	附属病院、MRI-CT装置棟、中央診療棟、PET-CT棟、立体駐車場(患者用)、サイクロترون棟、その他 Univ. Hospital, MRI-CT Facilities, Central Clinical Facilities, PET-CT Facilities, Multilevel Car Parking for Patients, Cyclotron Facilities and others
看護師宿舎 Nurse Residence		1,419	5,526	医大舟岡山宿舎 2棟 129戸 Funaokayama Univ. Residence 構造RC-規格a 94戸 構造RC-規格b 35戸
職員宿舎(二) Staff Quarters 2		897	3,313	医大半田山宿舎 3棟 60戸 Handayama Univ. Residence 構造RC-規格c 10戸 構造RC-規格b 50戸
職員宿舎(一) Staff Quarters 1	35,408	2,914	9,216	医大宿舎 7棟 128戸 Univ. Residence 構造RC-規格c 128戸
三ヶ日艇庫 Mikkabi Boat House				学長宿舎 1棟 1戸 (構造W-規格e)
合計 Total	301,116	42,397	163,677	

令和2年5月1日現在 Data on May 1, 2020

歴代学長・沿革

Former Presidents & History

歴代学長 Former Presidents	初代 吉利和 First YOSHITOSHI Yawara	昭和49年 6月 7日 ~ 昭和61年 3月31日 Jun. 7, 1974 ~ Mar. 31, 1986	第4代 山崎昇 4th YAMAZAKI Noboru	平成 8年 5月 1日 ~ 平成12年 4月30日 May 1, 1996 ~ Apr. 30, 2000
	第2代 中井準之助 2nd NAKAI Jyunnosuke	昭和61年 4月 1日 ~ 平成 2年 3月31日 Apr. 1, 1986 ~ Mar. 31, 1990	第5代 寺尾俊彦 5th TERA0 Toshihiko	平成12年 5月 1日 ~ 平成22年 3月31日 May 1, 2000 ~ Mar. 31, 2010
	第3代 川島吉良 3rd KAWASHIMA Yoshiro	平成 2年 5月 1日 ~ 平成 8年 4月30日 May 1, 1990 ~ Apr. 30, 1996	第6代 中村達 6th NAKAMURA Satoshi	平成22年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日 Apr. 1, 2010 ~ Mar. 31, 2016

昭和48年(1973)	9月 10日	Sep.	静岡大学国立医科大学創設準備室設置	A preparatory committee was created at Shizuoka University for the founding of a national medical college.
昭和49年(1974)	6月 7日	Jun.	浜松医科大学設置 医学部医学科、 附属図書館及び事務局設置	Hamamatsu University School of Medicine was found. Faculty of Medicine, University Library and Administration Bureau were established.
			医学部に8講座 (解剖学第一、生理学第一、生化学第一、 病理学第一、微生物学、内科学第一、外科学 第一、放射線医学) 9学科目 (倫理学、心理学、法学、数学、物理学、 化学、生物学、英語、ドイツ語)開設	Departments of Anatomy I, Physiology I, Biochemistry I, Pathology I, Microbiology, Internal Medicine I, Surgery I and Radiology were established in the Faculty of Medicine. Ethics, Psychology, Legal, Mathematics, Physics, Chemistry, Biology, English and German were established in the Liberal Arts.
	7月 4日	Jul.	医学部医学科第1回入学式	The first entrance ceremony for the Faculty of Medicine was held.
昭和50年(1975)	3月 29日	Mar.	講義実習棟竣工	The Educational Building was completed.
	4月 1日	Apr.	附属病院創設準備室設置	A preparatory committee was formed to establish the University Hospital.
			医学部に7講座 (解剖学第二、生理学第二、病理学第二、薬理 学、内科学第二、産婦人科学、小児科学)開設	Departments of Anatomy II, Physiology II, Pathology II, Pharmacology, Internal Medicine II, Obstetrics & Gynecology and Pediatrics were established in the Faculty of Medicine.
昭和51年(1976)	3月 25日	Mar.	福利施設棟竣工	The Welfare Facilities were completed.
	3月 27日	Mar.	体育館竣工	Gymnasium was completed.
	5月 10日	May.	医学部に7講座 (衛生学、公衆衛生学、寄生虫学、法医学、 外科学第二、整形外科、眼科学)開設	Departments of Hygiene, Public Health, Parasitology, Legal Medicine, Surgery II, Orthopedic Surgery and Ophthalmology were established in the Faculty of Medicine.
	12月 11日	Dec.	第1回解剖体慰霊祭	The first memorial service was held for deceased donor.
昭和52年(1977)	3月 25日	Mar.	基礎臨床研究棟竣工	The Basic and Clinical Research Building was completed.
	3月 30日	Mar.	RI動物実験施設、 管理棟及び臨床講義棟竣工	RI Experimental Animals Institute, the Headquarters Building and the Educational Building were completed.
	4月 18日	Apr.	医学部附属病院設置	The University Hospital was established.
			医学部に6講座 (内科学第三、精神神経医学、皮膚科学、 泌尿器科学、耳鼻咽喉科学、麻酔学)開設	Departments of Internal Medicine III, Psychiatry, Dermatology, Urology, Otorhinolaryngology, and Anesthesiology were established in the Faculty of Medicine.
			医学部附属病院に15診療科 (第一内科、第二内科、精神科神経科、小児科、 第一外科、第二外科、整形外科、皮膚科、 泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産科婦人科、 放射線科、麻酔科、歯科口腔外科)設置	Clinical Care Departments of Internal Medicine I and II, Psychiatry, Pediatrics, Surgery I and II, Orthopedics, Dermatology, Urology, Ophthalmology, Otolaryngology, Obstetrics & Gynecology, Radiology, Anesthesiology, Dentistry & Oral & Maxillofacial Surgery were established in the University Hospital.
			医学部附属病院中央診療施設等 (検査部、放射線部、手術部、材料部)設置	Clinical Laboratories, Radiological Center, Surgical Operation and Central Supply were established in Central Clinical Facilities.
			薬剤部・看護部設置	Hospital Pharmacy and Nursing were established.
	11月 28日	Nov.	医学部附属病院の一部が竣工し、外来診療 を開始	Partial Hospital Building was constructed and the Outpatient Services started.
	12月 20日	Dec.	医学部附属病院竣工	The building of the University Hospital was completed.
	昭和53年(1978)	3月 30日	Mar.	廃棄物廃水处理施設竣工
4月 1日		Apr.	医学部に2講座 (生化学第二、脳神経外科学)開設	Departments of Biochemistry II and Neurosurgery were established in the Faculty of Medicine.
			医学部附属病院に2診療科 (第三内科、脳神経外科)設置	Clinical Care Departments of Medicine III, Neurosurgery were established in the University Hospital.
			廃棄物廃水处理センター設置	The Water Disposal Center was established.
5月 25日		May	慰霊塔除幕式	The dedication of deceased donors memorial was held.
昭和54年(1979)	11月 15日	Nov.	附属図書館竣工	The University Library building was completed.
	3月 30日	Mar.	プール及び福利厚生施設、職員会館(半田山 会館)竣工	Swimming pool and Handayama Hall were completed.
	4月 1日	Apr.	医学部附属動物実験施設設置	Experimental Animals Institute was established.
	12月 8日	Dec.	武道館竣工	The Martial Art Hall was completed.
昭和55年(1980)	3月 26日	Mar.	医学部医学科第1回学位記授与式	The first degree award ceremony for the Faculty of Medicine, School of Medicine was held.
	4月 1日	Apr.	大学院医学研究科博士課程(形態系専攻、 生理系専攻、生化系専攻、生態系専攻)設置	Graduate School of Medical Sciences, Doctoral Degree Program was established.
	4月 26日	Apr.	大学院医学研究科博士課程第1回入学式	The first entrance ceremony for Graduate School of Medicine Doctoral Degree Program was held.
昭和56年(1981)	4月 1日	Apr.	医学部附属実験実習機器センター設置	The Research Equipment Center was established.

昭和59年(1984)	2月 18日 Feb.	開学10周年記念式典	10th anniversary commemoration of the University was held.
	3月 26日 Mar.	大学院医学研究科博士課程 第1回学位記授与式	The first degree award ceremony for Graduate School of Medicine Doctoral Degree Program was held.
	4月 1日 Apr.	医学部に講座(歯科口腔外科学)開設	Dentistry & Oral & Maxillofacial Surgery Department was established in the Faculty of Medicine.
昭和60年(1985)	5月 17日 May	保健管理センター設置	The Health Administration Center was established.
昭和62年(1987)	12月 5日 Dec.	医学部附属病院開院10周年記念式典	10th anniversary commemoration of the University Hospital was held.
昭和63年(1988)	5月 25日 May	医学部附属病院中央診療施設等(病理部)設置	Diagnostic Pathology was established in Central Clinical Facilities.
	10月 20日 Oct.	基礎臨床研究棟別館竣工	Basic and Clinical Research Building Annex was completed.
平成元年(1989)	6月 28日 Jun.	医学部に講座(臨床検査医学)開設	Department of Laboratory Medicine was established in the Faculty of Medicine.
	10月 1日 Oct.	医学部にメディカルホトニクス講座 (寄附講座)開設	Department of Medical Photonics was established by donation in the School of Medicine.
平成2年(1990)	3月 20日 Mar.	MRI-CT装置棟竣工	The MRI-CT Center was completed.
	6月 8日 Jun.	医学部に学科目(日本語・日本事情)開設	Japanese & Japanese Affairs was established in the Liberal Arts.
		麻酔学講座を麻酔・蘇生学講座に名称変更	Department of Anesthesiology was renamed to the Department of Anesthesiology & Critical Care Medicine in the Faculty of Medicine.
平成3年(1991)	4月 12日 Apr.	医学部附属病院麻酔科を麻酔科蘇生科に名称変更	Clinical Care Department of Anesthesiology was renamed to the Clinical Care Department of Anesthesiology & Critical Care Medicine.
		量子医学研究センター設置	Photon Medical Research Center was established.
		医学部附属病院中央診療施設等(救急部)設置	Emergency Unit was established in the Central Clinical Facilities.
平成5年(1993)	4月 1日 Apr.	医学部附属病院中央診療施設等(集中治療部)設置	Intensive Care Unit was established in the Central Clinical Facilities.
	6月 17日 Jun.	廃棄物廃水处理センターを 医療廃棄物処理センターに名称変更	Water Disposal Center was renamed to the Center for Medical Waste Management.
	10月 1日 Oct.	医学部に臨床薬理学講座(寄附講座)開設	Department of Clinical Pharmacology & Therapeutics was established by donation in the School of Medicine.
平成6年(1994)	5月 20日 May	医学部附属病院中央診療施設等(輸血部)設置	Blood Transfusion Unit was established in the Central Clinical Facilities.
	6月 7日 Jun.	開学20周年記念式典	20th anniversary commemoration of the University was held.
平成7年(1995)	4月 1日 Apr.	医学部看護学科設置	The Faculty of Nursing was established.
	4月 25日 Apr.	医学部に学科目(生命科学)開設	Life Science was established in the Liberal Arts.
		医学部看護学科第1回入学式	The first entrance ceremony for the Faculty of Nursing was held.
		医学部看護学科設置記念式典	The foundation ceremony of the Faculty of Nursing was held.
		情報処理センター設置	Information Processing Center was established.
平成8年(1996)	3月 25日 Mar.	国際交流会館竣工	International Residence was completed.
	4月 1日 Apr.	医学部看護学科に3講座 (基礎看護学、臨床看護学、地域看護学)開設	Department of Basic Nursing, Clinical Nursing and Community Nursing were established in the Faculty of Nursing.
		医学部に学科目(情報科学)開設	Informatics was established in the Liberal Arts.
		医学部附属病院中央診療施設等(医療情報部)設置	Medical Informatics was established in the Central Clinical Facilities.
平成9年(1997)	4月 1日 Apr.	医学部附属病院中央診療施設等(光学医療診療部)設置	Endoscopic & Photodynamic Medicine was established in the Central Clinical Facilities.
	7月 28日 Jul.	看護学科棟の一部が竣工	Partial construction of the Nursing Faculty Building.
	11月 27日 Nov.	医学部附属病院開院20周年記念式典	20th anniversary commemoration of the University Hospital was held.
平成10年(1998)	2月 16日 Feb.	看護学科棟竣工	Nursing Faculty Building was completed.
	3月 30日 Mar.	弓道場竣工	Kyudo Ground was completed.
	4月 1日 Apr.	医学部医学科に講座(臨床薬理学)開設	Department of Clinical Pharmacology & Therapeutics was established in the Faculty of Medicine.
		医学部附属病院中央診療施設等(血液浄化療法部)設置	Blood Purification Unit was established in the Central Clinical Facilities.
		医学部附属病院に2診療科(循環器科、心臓血管外科)設置	Clinical Care Departments of Cardiology, Cardiovascular Surgery were established in the University Hospital.
平成11年(1999)	3月 26日 Mar.	医学部看護学科第1回学位記授与式	The first degree award ceremony for the Faculty of Nursing, School of Medicine was held.
	4月 1日 Apr.	大学院医学研究科を大学院医学系研究科に名称変更し、修士課程(看護学専攻)設置	Graduate School of Medical Sciences was renamed to Graduate School of Medicine & Nursing. Master's Degree Program was established.
		医学部附属病院中央診療施設等(リハビリテーション部)設置	Rehabilitation Center was established in the Central Clinical Facilities.
	4月 26日 Apr.	大学院医学系研究科修士課程第1回入学式	The first entrance ceremony for the Graduate School of Nursing Master's Degree Program was held.
平成12年(2000)	12月 24日 Dec.	量子医学研究センター竣工	The Photon Medical Research Center Building was completed.
	4月 1日 Apr.	事務局教務部に入学主幹、総務部に情報企画室を設置	Admissions Office and Computing & Network Planning Office were established in the Administration Bureau.
平成13年(2001)	3月 27日 Mar.	大学院医学系研究科修士課程第1回学位記授与式	The first degree award ceremony for Graduate Master's Degree Program School of Medicine was held.
	4月 1日 Apr.	医学部附属病院中央診療施設等(治験管理センター)設置	Drug Investigation Center was established in the Central Clinical Facilities.
		量子医学研究センター改組	The Photon Medical Research Center Building was reorganized.
平成14年(2002)	12月 18日 Dec.	探索的臨床研究施設竣工	The Translational Research Center was completed.
	4月 1日 Apr.	医学部医学科に講座(救急医学)開設	Department of Emergency Medicine was established in the Faculty of Medicine.

平成14年(2002)	4月 1日 Apr.	医学部附属病院中央診療施設等(周産母子センター)設置	Perinatal Center was established in the Central Clinical Facilities.
	9月 1日 Sep.	医学部附属病院中央診療施設等(遺伝子診療部)設置	Clinical & Molecular Genetics Center was established in the Central Clinical Facilities.
	10月 1日 Oct.	医学部医学科第2年次後期編入学 第1回入学式	The first entrance ceremony for the enrollees in the second-year program in the Faculty of Medicine was held.
	11月 1日 Nov.	医学部附属病院に診療科(リハビリテーション科)設置	Clinical Care Departments of Rehabilitation was established in the University Hospital.
平成15年(2003)	3月 1日 Mar.	医学部附属病院新生児特定集中治療室(NICU)開設	NICU was established in the University Hospital.
	4月 1日 Apr.	医学部附属病院中央診療施設等(医療福祉支援センター)設置	Medical Welfare Support Center was established in the Central Clinical Facilities.
	9月 3日 Sep.	21世紀COEプログラムに「メディカルフォトリクス」が採択	Our research program entitled "Medical Photonics" was selected as one of the 21st century COE programs by JSPS.
平成16年(2004)	4月 1日 Apr.	国立大学法人浜松医科大学設置	The National University Corporation Hamamatsu University School of Medicine started.
		大学院医学系研究科博士課程の専攻を、光先端医学、高次機能医学、病態医学及び予防・防御医学に変更	The majors of Doctoral Degree program were rearranged to 4 majors; Advanced Photo Medicine, Integrated Functional Medicine, Frontier Medicine and Infectious Disease Control & Preventive Medicine.
		医学部附属病院中央診療施設の医療福祉支援センター及び治験管理センターを医学部附属病院の医療福祉支援センター及び臨床研究管理センターに改組	Medical Welfare Support Center and Drug Investigation Center in the Central Clinical Facilities were reorganized to the Medical Welfare Support Center and Center for Clinical Research in the University Hospital.
		医学部附属病院に臨床研修センター及び医療安全管理室を設置	Post Graduate Clinical Training Center and Medical Safety Administration Office were established in the University Hospital.
		事務局総務部庶務課を総務課と人事課に改組、業務部の医事課を医療サービス課に改め病院管理室を設置、教務部を学務部に改め入学主幹を廃し入試課を設置	Administration Bureau was reorganized and General Affairs Division, Personnel Division, Student Affairs Division and Admissions Division were established. (Admissions Office was expanded.)
	11月13日 Nov.	開学30周年記念式典	30th anniversary commemoration of the University was held.
平成17年(2005)	4月 1日 Apr.	医学部一般教育等の12学科目(倫理学、心理学、歴史学、社会学、物理学、化学、生物学、英語、日本語・日本事情、生命科学、情報科学)を総合人間科学講座に改組	12 Divisions of the Liberal Arts were reorganized into the Department of Integrated Human Sciences.
		医学部医学科の解剖学第一講座及び解剖学第二講座を解剖学講座に改組	Departments of Anatomy I and II were integrated into a single Department of Anatomy.
		医学部医学科の衛生学講座及び公衆衛生学講座を健康社会医学講座に改組	Departments of Hygiene and Public Health were integrated into a single Department of Community Health & Preventive Medicine.
		医学部附属病院中央診療施設等(栄養部)設置	The Clinical Nutrition Unit was established in the Central Clinical Facilities.
		事務局の業務部を病院部に改め、施設課を総務部に編入	Facilities & Medical Affairs Division was reorganized to the Medical Affairs Division and Facilities Division.
	5月25日 May	医学部附属病院中央診療施設等(化学療法部)設置	Chemotherapy Center was established in the Central Clinical Facilities.
		医学部附属病院に外来化学療法センター設置	Chemotherapy Center was established in the University Hospital.
	7月 1日 Jul.	医学部附属病院新生児強化治療室(GCU)開設	GCU was established in the University Hospital.
平成18年(2006)	4月 1日 Apr.	医学部医学科の微生物学講座及び寄生虫学講座を感染症学講座に改組	Departments of Microbiology and Parasitology were integrated into the Department of Infectious Diseases.
		子どものこころの発達研究センター設置	Research Center for Child Mental Development was established.
		医学部附属病院に診療科(心療内科)設置	Psychosomatic Medicine was established in the University Hospital.
		医学部附属病院中央診療施設等(外来診療部)設置	Outpatient Clinics was established in the Central Clinical Facilities.
	7月 1日 Jul.	監査室設置	Audit office was established.
		事務局総務部総務課に研究協力室設置	Research Cooperation Office was established in General Affairs Division in Administration Bureau.
	10月 1日 Oct.	医学部附属病院に診療科(臨床薬理内科)設置	Clinical Care Departments of Clinical Pharmacology & Therapeutics was established in the University Hospital.
		医学部附属病院に腫瘍センター設置	Oncology Center was established in the University Hospital.
平成19年(2007)	1月 1日 Jan.	分子イメージング先端研究センター設置	Molecular Imaging Frontier Research Center was established.
		事務局病院部に病院再整備推進事務室設置	Hospital Reform Promotion Office was established in Administration Bureau
	1月23日 Jan.	医学部附属病院新病棟着工	Construction of the Hospital Ward was started.
	2月 1日 Feb.	医学部附属病院に診療科(形成外科)設置	Clinical Care Departments of Plastic & Reconstructive Surgery was established in the University Hospital.
	4月 1日 Apr.	医学部に分子診断学講座(寄附講座)開設	Department of Molecular Medicine was established by donation in the School of Medicine.
		医学部附属病院中央診療施設(輸血部)を(輸血・細胞治療部)に改める	Blood Transfusion Unit was reorganized to the Transfusion & Cell Therapy in the Central Clinical Facilities.
		医学部附属病院に難病医療相談支援センター設置	Intractable Disease Support Center was established in the University Hospital.
	5月 7日 May.	医大保育所きらり開所	HUSM crèche Kirari was established.
	7月 1日 Jul.	医学部附属病院中央診療施設(医療機器管理部)設置	Medical Instruments Administrative Center was established in the Central Clinical Facilities.
	10月 1日 Oct.	がん教育研究センター設置	Cancer Education & Research Center was established.
		医学部に地域医療学講座(寄附講座)開設	Department of Regional Medical Management Studies was established by donation in the School of Medicine.
	11月28日 Nov.	医学部附属病院開院30周年記念式典	30th anniversary commemoration of the University Hospital was held.

平成20年(2008)	1月 1日 Jan.	分子イメージング先端研究センターに分子解剖学研究部門開設	Department of Molecular Anatomy was established in the Molecular Imaging Frontier Research Center.	
	4月 1日 Apr.	助産学専攻科設置	Graduate Course of Midwifery was established.	
平成21年(2009)	4月 1日 Apr.	大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究科に参加	Osaka University, Kanazawa University and Hamamatsu University School of Medicine created the United Graduate School of Child Development.	
		事務局部制を廃止し、研究協力課及び病院経営支援課設置	Research Cooperation Section and Hospital Management Support Section were established in the Administration Bureau.	
	6月 29日 Jun.	医学部附属病院新病棟竣工	New Hospital Ward was completed.	
平成22年(2010)	4月 1日 Apr.	医学部附属病院中央診療施設(診療情報管理部)設置	Medical Records Center was established in the Central Clinical Facilities.	
	5月 1日 May	医学部に児童青年期精神医学講座(寄附講座)開設	Department of Medical Education was established by donation in the School of Medicine.	
平成23年(2011)	4月 1日 Apr.	光子医学研究センター及び分子イメージング先端研究センターを改組・統合し、メディカルフォトリクス研究センター設置	The Photon Medical Research Center and Molecular Imaging Frontier Research Center were integrated to The Medical Photonics Research Center.	
		産学官共同研究センター(PET-CT棟、サイクロトロン棟)設置	The Collaboration Center for Medical Innovation (PET-CT and Cyclotron Facilities) was established.	
		医学部に臨床医学教育学講座(寄附講座)開設	Department of Medical Education was established by donation in the School of Medicine.	
	6月 9日 Jun.	医学部附属病院に診療科(病理診断科)設置	Clinical Care Departments of Diagnostic Pathology was established in the University Hospital.	
平成24年(2012)	1月 1日 Jan.	医学部に地域周産期医療学講座(寄附講座)開設	Department of Regional Neonatal-Perinatal Medicine was established by donation in the School of Medicine.	
	4月 1日 Apr.	医学部医学科の生理学第一講座を神経生理学講座、生理学第二講座を医生理学講座、生化学第一講座を分子生物学講座、生化学第二講座を医化学講座、病理学第一講座を腫瘍病理学講座、病理学第二講座を再生・感染病理学講座、精神神経医学講座を精神医学講座、耳鼻咽喉科学講座を耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座、及び救急医学講座を救急災害医学講座に名称変更	Departments' renaming took place in the Faculty of Medicine; Physiology I to Neurophysiology, Physiology II to Medical Physiology, Biochemistry I to Molecular Biology, Biochemistry II to Biochemistry, Pathology I to Tumor Pathology, Pathology II to Regenerative & Infectious Pathology and Emergency Medicine to Emergency & Disaster Medicine.	
		大学院医学系研究科博士課程の専攻(光先端医学、高次機能医学、病態医学、予防・防御医学)を医学専攻に改組	4 majors of the Doctoral Degree program, Advanced Photo Medicine, Integrated Functional Medicine, Frontier Medicine and Infectious Disease Control & Preventive Medicine, were integrated into 1 major, Medicine.	
		大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究科を、大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科に変更	United Graduate School of Child Development was reorganized and renamed the United Graduate School of Child Development, Osaka University, Kanazawa University, Hamamatsu University School of Medicine, Chiba University and University of Fukui.	
		医学教育推進センター設置	The Medical Education Center was established.	
		医学部附属病院にシミュレーションセンター設置	Simulation Center was established in the University Hospital.	
		事務局の病院再整備推進事務室を廃止	Hospital Reform Promotion Office was abolished.	
	5月 28日 May	医学部医学科に講座(臨床腫瘍学)開設	Department of Clinical Oncology was established in the Faculty of Medicine.	
	6月 1日 Jun.	医学部に産婦人科家庭医療学講座(寄附講座)開設	Department of Obstetrics, Gynecology & Family Medicine was established by donation in the School of Medicine.	
	8月 1日 Aug.	情報処理センターを情報基盤センターに改組	Information Processing Center was reorganized to Information Technology Center.	
		広報室設置	Public Relations Office was established.	
	平成25年(2013)	4月 1日 Apr.	医学部附属病院に診療科(小児外科)設置	Clinical Care Department of Pediatric Surgery was established in the University Hospital.
			医学部附属病院に肝疾患連携相談室及び感染対策室設置	Liver Health Support & Counselling Services and Infection Control & Prevention Center were established in the University Hospital.
	11月 1日 Nov.	医学部に地域家庭医療学講座(寄附講座)開設	Department of Family & Community Medicine was established by donation in the School of Medicine.	
平成26年(2014)	2月 1日 Feb.	医学部附属病院に女性医師支援センター設置	Woman Doctor Support Center was established in the University Hospital.	
	4月 1日 Apr.	学長付企画推進室設置	Project Promoting Office was established.	
	7月 10日 Jul.	学章及びシンボルマークを制定	University Emblem & Logo were established.	
	11月 22日 Nov.	開学40周年記念式典	40th anniversary commemoration of the University was held.	
平成27年(2015)	4月 1日 Apr.	放射線医学講座を放射線診断学・核医学講座及び放射線腫瘍学講座に改組	Department of Radiology was divided into Diagnostic Radiology & Nuclear Medicine and Radiation Oncology in the Faculty of Medicine.	
		医学部附属病院診療科(放射線科)を(放射線診断科)及び(放射線治療科)に改組	Clinical Care Department of Radiology was divided into Diagnostic Radiology and Radiation Therapy in the University Hospital.	
		助産学専攻科を廃止し、大学院医学系研究科修士課程に助産師養成コースを設置	Midwifery course, Master's Degree Program in Nursing was established. (Graduate course of Midwifery was superseded.)	
		がん教育研究センターを廃止し、臨床腫瘍学講座に業務を移行	Cancer Education & Research Center was merged into the Department of Clinical Oncology in the Faculty of Medicine.	
平成28年(2016)	1月 1日 Jan.	メディカルフォトリクス研究センター、動物実験施設、実験実習機器センター、産学官共同研究センターを改組し、光先端医学教育研究センター設置	Medical Photonics Research Center, Experimental Animals Institute, Research Equipment Center and Collaboration Center for Medical Innovation were integrated into the Preeminent Medical Photonics Education & Research Center.	

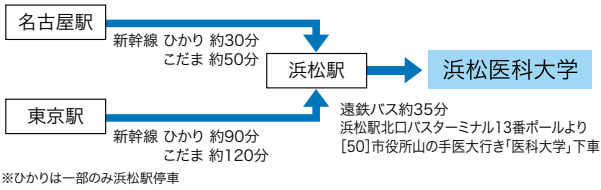
案内図 Location Map

Hamamatsu University School of Medicine is located approximately 10.6km north of Hamamatsu Station.



交通アクセス Directions

新幹線・バス

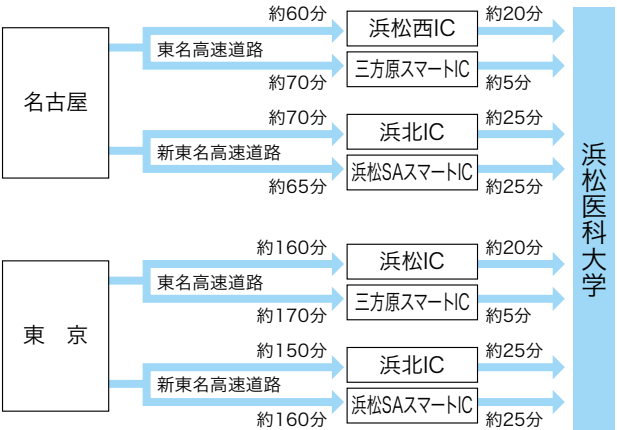


Transportation <Railway>				
Tokyo—Hamamatsu	Shinkansen Hikari	1 hour 30 mins		
Nagoya—Hamamatsu	Shinkansen Hikari	30 mins		
Kyoto—Hamamatsu	Shinkansen Hikari	1 hour 10 mins		
Shin Osaka—Hamamatsu	Shinkansen Hikari	1 hour 25 mins		

Commuting Guide at the Station's Bus Terminal Located near the North Entry of Hamamatsu Station

Entetsu Bus	Bus Terminal	Route Number	Route Name	Time Required
	Stop 13	50	Shiyakusho Yamanote line bound for Hamamatsu University School of Medicine	35 mins

自動車



キャンパスマップ Campus Map



施設名称

① 管理棟	Headquarters Building
② 講義実習棟	Educational Building
③ 福祉施設棟	Welfare Facilities
④ 附属図書館	University Library
⑤ 基礎臨床研究棟	Basic and Clinical Research Building
⑥ 医工連携拠点棟	Innovative Medical Collaboration Building
⑦ 看護学科棟	Nursing Faculty Building
⑧ 総合人間科学・基礎研究棟	Integrated Human Sciences & Basic Research Building
⑨ 臨床講義棟	Clinical Lecture Building

⑩ 附属病院棟 (外来棟)	Outpatient Clinic, University Hospital
⑪ 附属病院棟 (病棟)	Hospital Ward, University Hospital
⑫ PET-CT棟	PET-CT Facilities
⑬ 探索的臨床研究施設	Translational Research Center
⑭ フォトン研究棟	Photon Research Building
⑮ サイクロトロン棟	Cyclotron Facilities
⑯ RI動物実験施設	RI Experimental Animals Institute
⑰ 医療廃棄物処理センター	Center for Medical Waste Management
⑱ 国際交流会館	International Residence
⑲ 医大宿舍	University Residence
⑳ 医大舟岡山宿舍	Funaokayama University Residence
㉑ 医大半田山宿舍	Handayama University Residence

㉒ 体育館	Gymnasium
㉓ 武道館	Martial Arts Hall
㉔ 弓道場	Kyudo Ground
㉕ プール	Swimming Pool
㉖ テニスコート	Tennis Court
㉗ サッカー・ラグビーグラウンド	Soccer/Rugby Ground
㉘ 野球場	Baseball Ground
㉙ 半田山会館	Handayama Hall
㉚ 慰霊塔	Cenotaph